

【恵庭市男女共同参画アンケート調査結果】

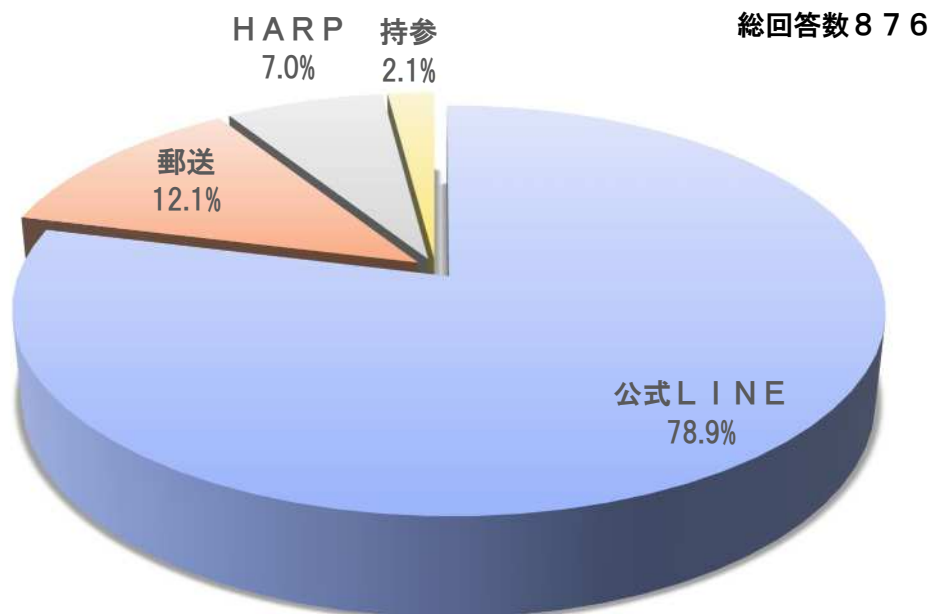
(R7.3.31～R7.4.30 調査)

		①回答別		②性別			③年代別								
		件数	割合	男性	女性	回答 しない	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代 以上	
対象		総数 (割合)	876		368 42.0%	489 55.8%	19 2.2%	16 1.8%	63 7.2%	131 15.0%	199 22.7%	177 20.2%	137 15.6%	120 13.7%	33 3.8%
回答内訳	全域	公式LINE	691 (24)	78.9% (2.7%)	289 (10)	390 (12)	12 (2)	10 (0)	46 (1)	111 (6)	180 (6)	145 (8)	112 (2)	78 (1)	9 (1)
		持参	18	2.0%	9	9	0	0	2	0	0	0	3	13	0
		小計	709	80.9%	298	399	12	10	48	111	180	145	115	91	9
	無作為500件	郵送	106	12.1%	47	54	5	2	2	7	4	22	17	29	23
		HARP (二次元バーコード)	61	7.0%	23	36	2	4	13	13	15	10	5	0	1
		小計	167	19.1%	70	90	7	6	15	20	19	32	22	29	24
		【参考:送付数】 (回答／送付)	500	33.4% (回答率)	250 28.0%	250 36.0%		51 11.8%	55 27.3%	56 35.7%	72 26.4%	78 41.0%	66 33.3%	70 41.4%	52 46.1%

※カッコ内は市外在住者の数。

【①回答別】

●回答方法別内訳



前回調査と比べ、21件増加となり、今回新たな取組として行った公式LINEの回答が約8割の691件であった。無作為抽出500件を対象とした回答数は167件（郵送・HARP）と3人に1人が回答した。

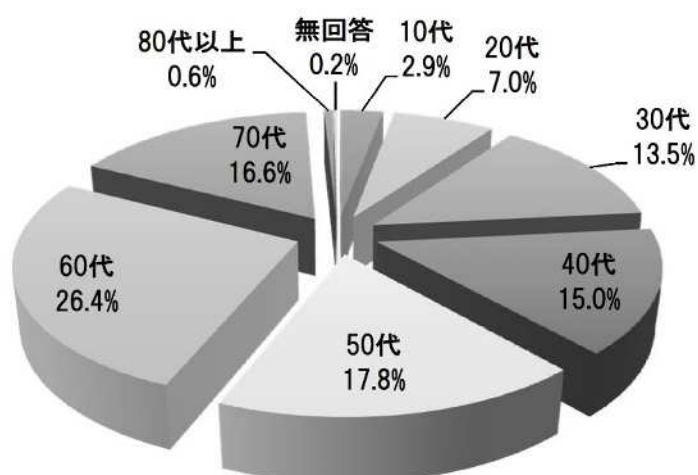
【参考】 前回(H26)アンケート回答内訳

回収

回収数 855件
回収率 42.8 %
内訳

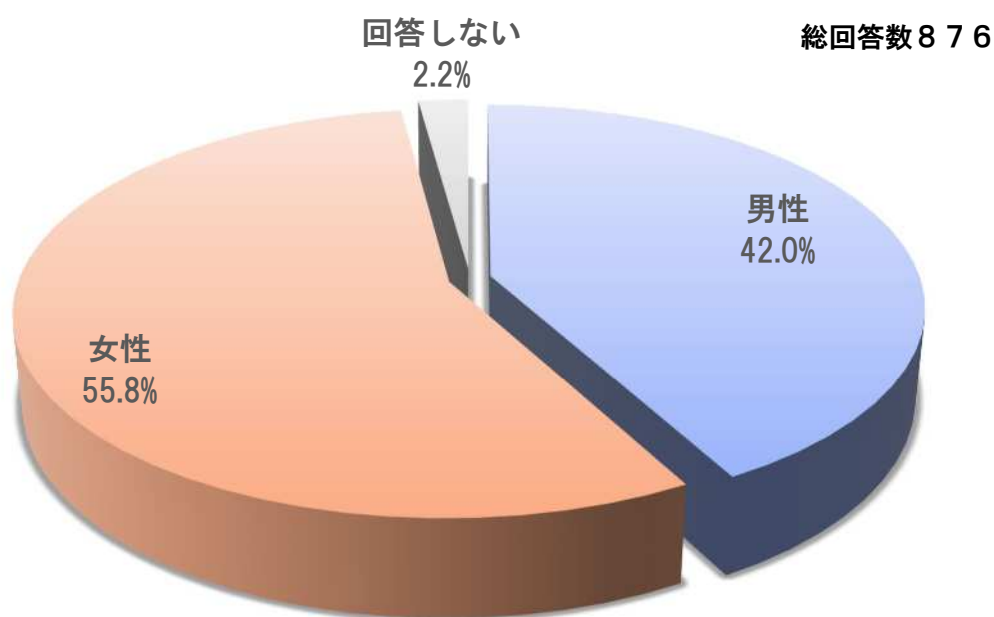
性別 男性 366人
女性 484人
無回答 5人

年代別 10代 25人
20代 60人
30代 115人
40代 128人
50代 152人
60代 226人
70代 142人
80代以上 5人
無回答 2人



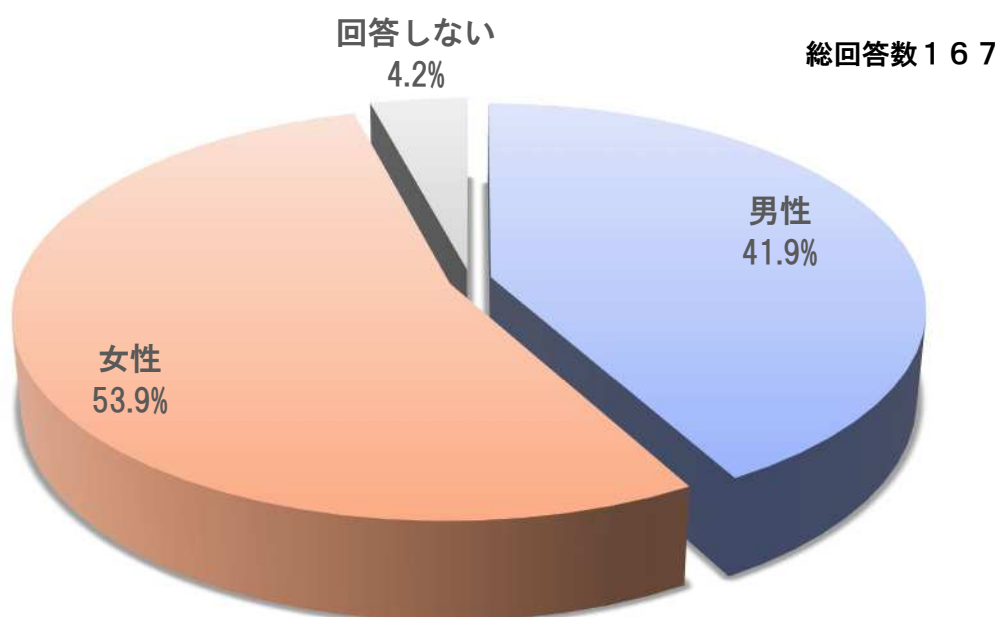
【②男女別】

1. 男女別内訳



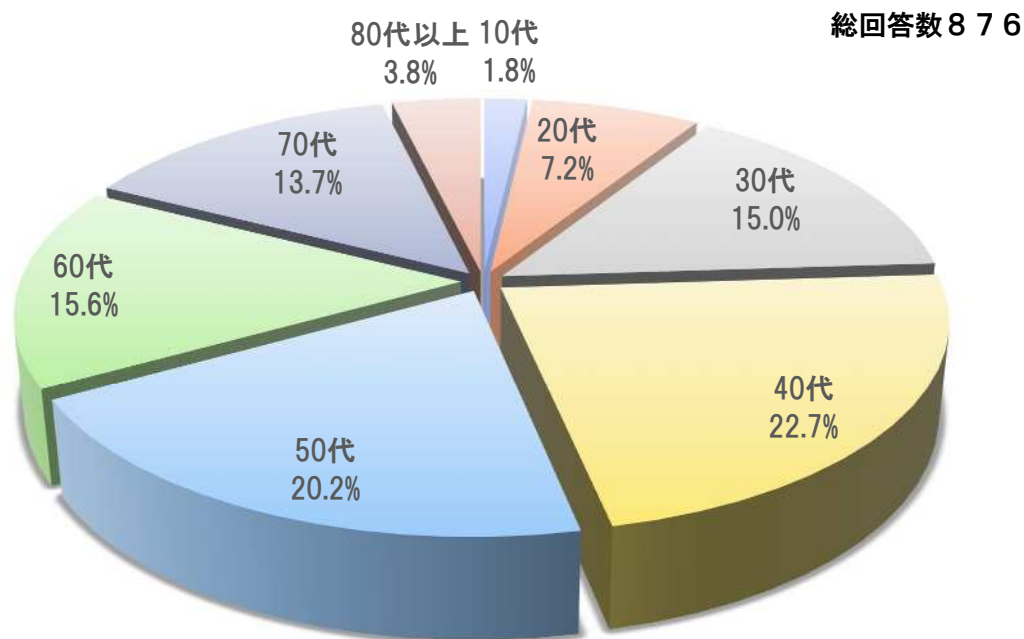
女性の回答が男性より14%近く多かったが、前回調査とほぼ同様の傾向であった。
(前回調査：男性 42.8%、女性 56.6%、無回答 0.6%)

2. 無作為抽出500件（郵送・HARP）の男女別内訳



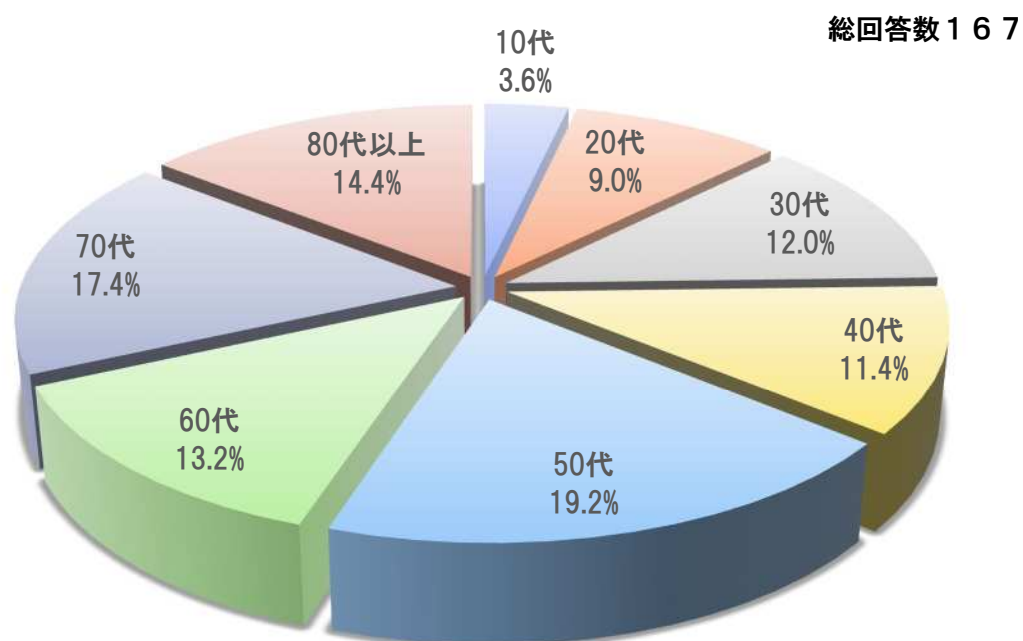
【③年代別】

1. 年代別内訳



前回の調査では50代～70代の回答が多かったが、今回の調査では40代・50代が多かった。今回の調査では、新たに市公式LINEで回答できるようにしたことから、現役世代の回答率が伸びたものと推測する。

2. 無作為抽出500件（郵送・HARP）の年代別内訳

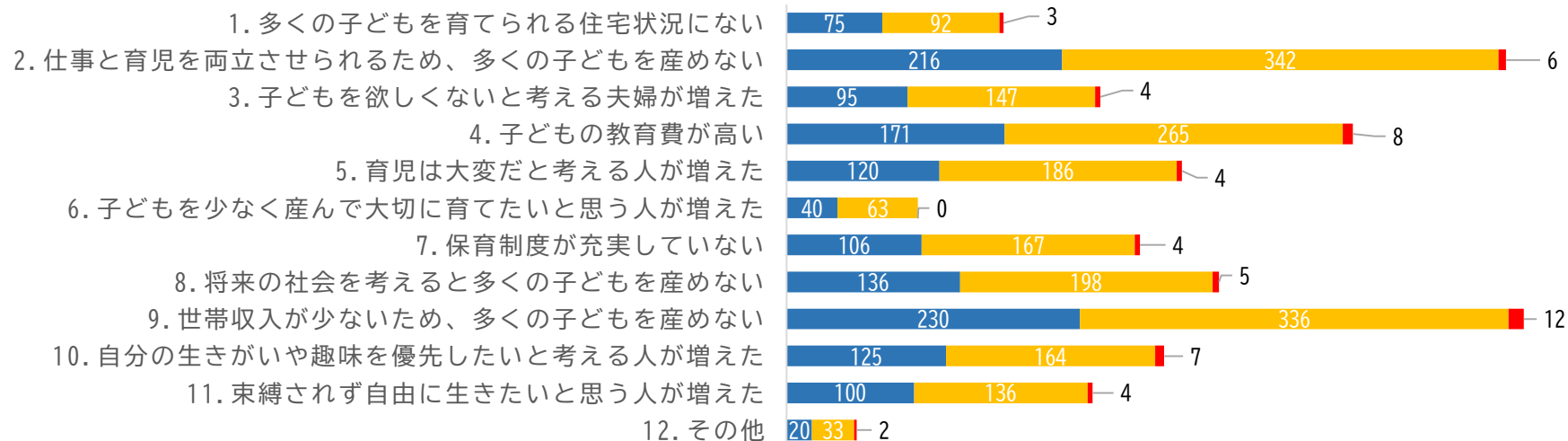


「1.回答方法別内訳(p1)」に比べ、70代、80代以上が増加しており、年代が上がるほど郵送での回答が増加している。（10代・20代の回答21件のうち、HARP回答17件に対し、70代以上の回答52件のうち、HARP回答は1件）

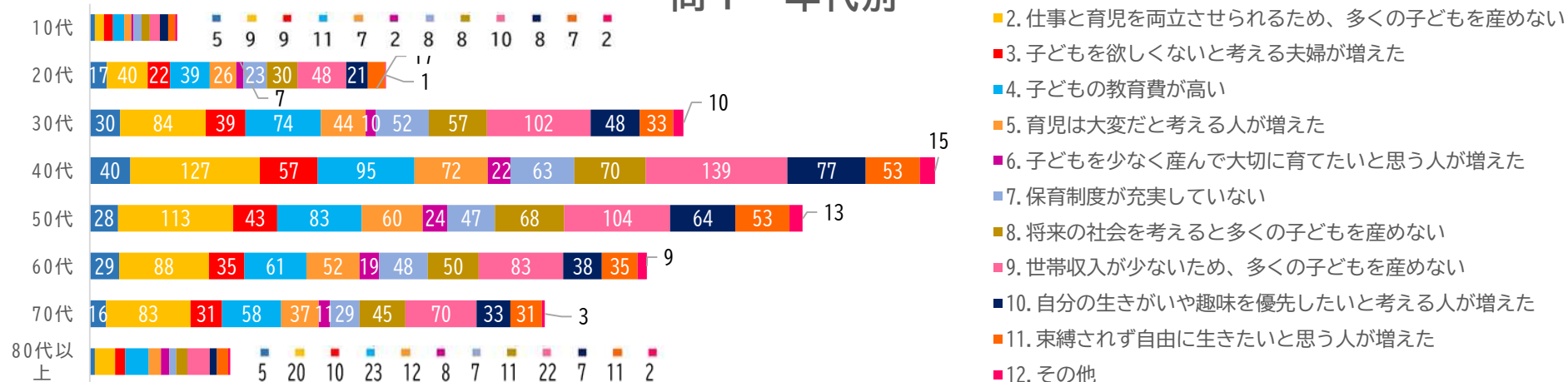
【1】女性が生涯に出産する子どもの数が年々減り続けていますが、なにが原因だと考えますか。(複数選択可)

問1－性別別

■男性 ■女性 ■回答しない



問1－年代別



【問1 12. その他】の意見（原文ママ）

- ・国の教育・子育て予算が少ない。【60代・女性】
- ・物価など、身の回りにかかる税金などが高すぎて、余裕が無い。【40代・女性】
- ・不妊治療費が高額で産みたくても産めない。【50代・男性】
- ・無駄に低所得世帯にばかり給付や支援をしないで、子供を育てている世帯を支援が少ないため。【30代・回答しない】
- ・人口率の多い就職氷河期が収入不足により家族を築けず生きる模範を作り、今の20代前後の人口も減らしてしまった為。【40代・男性】
- ・夢も希望もない世の中だから、産んだことを後悔することがある。
【50代・女性】
- ・欲しくても 不妊体質の女性男性が増えている。【60代・女性】
- ・物価が高騰して生活が大変なので。【50代・女性】
- ・結婚できない。【60代・男性】
- ・学校行事等で自由に行動出来ない。【70代・男性】
- ・出産できる所がないから。【40代・女性】
- ・結婚年齢が遅くなった。 【50代・女性】
- ・未婚者の増加。【60代・男性】
- ・女性の社会進出。【50代・男性】
- ・子供を産まなくても楽しく暮らせる。【50代・女性】
- ・20?30代という出産適齢期?育児の大変な時期(0?3歳)と仕事のキャリアアップの時期が丸かぶり。【30代・女性】
- ・男女雇用均等法のため夫婦で職場に拘束される時間が増えた。【70代・男性】
- ・結婚が遅いから。【50代・男性】
- ・賃金が上がり年収が低い。【30代・女性】
- ・子育てしづらいシステムが多い。保育園より小学校1年の壁、小学校3年の壁、思春期など、つまりくタイミングが多い。【40代・女性】
- ・派遣社員制度。【80代以上・男性】

- ・政府だけでなく、家庭から(夫や実家)の支援が少なく、母親だけの負担が大きいと感じているから。【20代・女性】
- ・独身者が増えてるのかもしれませんが。【50代・女性】
- ・子供が2人いても歳の差で保育料も1人目扱いになったり、2人目でもお金がかかる状況にお金も苦しい。【30代・女性】
- ・仕事と子育てを両立させる雇用、育児制度が貧弱。 【40代・男性】
- ・国の制度、企業が家庭を持ち子供をもうけて生活する事が可能な水準の賃金を払う責任を放棄している、また所謂氷河期世代を置き去りにし、人口が1番多いボリュームゾーンに対する支援を国も企業も行う気がない、このような状況でどう結婚し、どう子供を作れと言うのか、国や企業、またこの状況を他人事のように報道するメディア、社会全般に対する不信が根底にある。【40代・男性】
- ・生き方の多様化。【50代・女性】
- ・収入が増えない現在であるので共働きをする夫婦が多いので子供が少なくなる。【70代・男性】
- ・税金、社会保険が高い。【30代・男性】
- ・欲しくてもさずからず、不妊治療やその費用に悩む人も増えている。
【40代・男性】
- ・昔程ではなくなっているが子育ては母みに重い負担がかかっている現状。
【80代以上・女性】
- ・子育てに関して母親の負担が多いにも関わらず、収入面で働かなければならず子供の体調不良や保育施設の都合で休まなければならないことがあり職場に迷惑をかけることが精神的に負担。【40代・女性】
- ・夫婦での偏った育児、家事の分担。出産後にも女性が働かないと生活できずに子供を犠牲にすることへの不安。【40代・女性】
- ・子供にかかる費用が高い為。【50代・女性】
- ・妊娠中の休暇、産後の金銭面の補償が足りない。 【30代・女性】

・教育に限らず子育て全般でお金がかかり、物価高が続いてるにも関わらず、世帯収入が増えないことから、将来への不安から出産数が伸びないと思います。

【40代・男性】

・子供を安心して産めると思えるような信頼且つ頼れる政治家が日本には希少過ぎる！！【60代・女性】

・保育制度の充実といっても預けるばかりではなく、保護者の勤務時間の短縮や給料が保障される休暇の充実の方が大事だし、小学校卒業まで必要と思う。

【40代・女性】

・保育所不足。【10代・女性】

・結婚年齢が高齢化しているため産める人数に限られる。【40代・女性】

・核家族化で、頼れる人が少ない。【40代・女性】

・メディア含めお一人様を押し過ぎたせいもあると思う。【30代・女性】

・姑がうざかったため。【50代・女性】

・物価高など経済的に困難。【30代・女性】

・働きながら子育てをする環境が整っておらず仕事を断念するしかない。

【60代・女性】

・増税。【40代・女性】

・物価高なのにも関わらず収入はほぼ同じなので金銭的理由で子どもを増やすことが出来ない。【30代・男性】

・片方のワンオペになってしまうことがあるため。【30代・女性】

・わたしのときは不妊治療が自己負担だったためなかなか厳しかった。乳がんは2度かかり、卵子凍結の提案が1度目の癌のときにされていたら、もしかしたら保存を決断していたかもしれないが、費用負担を考えたときにかかなり厳しい。

【40代・女性】

・育児のための環境がまだまだ足りない。【70代・女性】

・物価高騰。【30代・回答しない】

・障がい児をサポートする体制が整っていないので産むのが怖い人が増えたのでは。【30代・女性】

・子供を産むメリットより、デメリットがまさってしまっている。【40代・女性】

・女性も働かなきゃ生きていけないほど日本が貧困になっている。

【50代・女性】

・旦那の手取りが増えない。自分の老後のお金が不安で子供に回せるお金がない。【50代・男性】

・晩婚化により、子どもを産みたいと思っても医学的に出産するのが難しくなるケースが増えている。【50代・男性】

・自公の政策が悪すぎて！【50代・男性】

・税金が高すぎてお金に余裕がないから。【40代・女性】

・何人も子供産んで人どんだけ稼いでるのだらうと思う。【40代・女性】

・子供を妊娠出来ない女性が増えていると感じます。【60代・女性】

・GDP が 30 年間変わっていないのに物価高や税金が高くなっているから。

【40代・男性】

・欲しくてもできずらい。【60代・女性】

・男女平等で女性が働きながら家事育児は厳しい。【60代・男性】

・不妊治療に対しての保険が受けられないこともあるので妊娠を諦めてしまうこともあるのかなと思いました。【30代・女性】

・保育士の月給は上げてほしい。【40代・男性】

・子供を身ごもっても、おろす人が多い。【50代・女性】

・妊娠・出産で体の変化、同じ仕事を続けるのが難しいこともある。

【50代・女性】

・人口が少なく親になる人が少ない。【60代・男性】

・結婚しない人、出来ない人が増えている。【60代・女性】

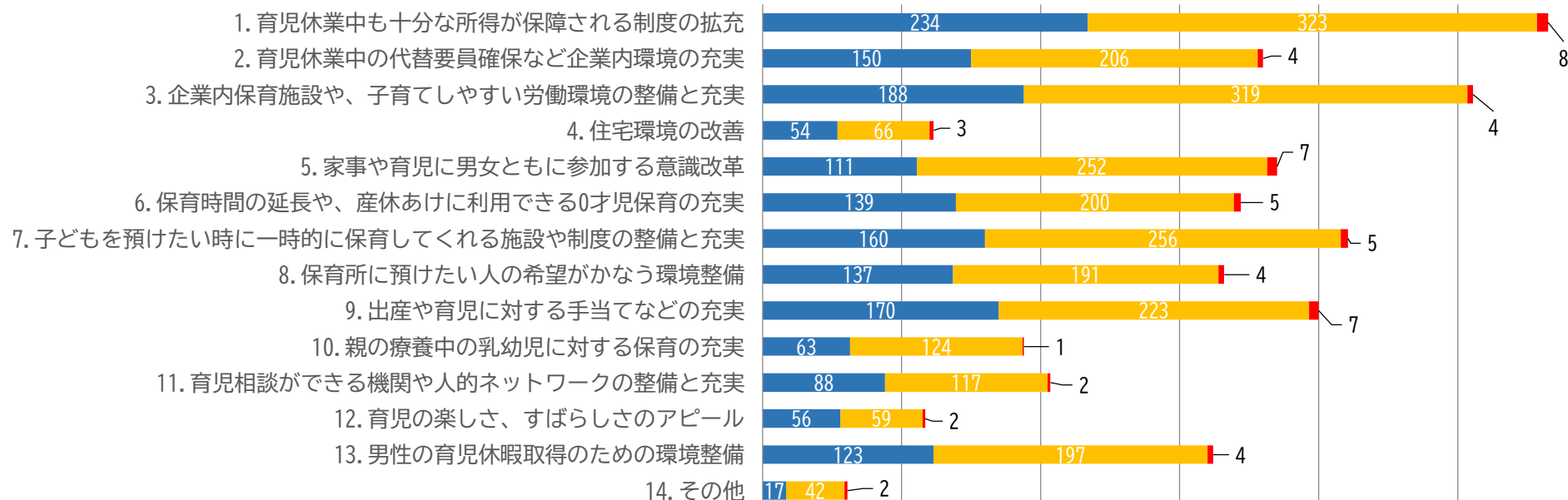
・子供を育てながら働く環境が過酷。【60代・女性】

・女性の負担が大きい。【70代・男性】

【2】子どもを産み育てやすい環境をつくるため、どのような事が必要だと思いますか。(複数選択可)

問2－性別別

■男性 ■女性 ■回答しない



問2－年代別



【問2 14. その他】の意見（原文ママ）

- ・物価や税金を下げ、給料を上げる。【40代・女性】
- ・不妊治療に係る費用の公費負担。【50代・男性】
- ・無駄に低所得世帯にばかり給付や支援をしないで、子供を育てている世帯を支援をすべき。特にお金面で。【30代・回答しない】
- ・育児手当の拡大。【40代・男性】
- ・所得アップ。【50代・回答しない】
- ・子どもを産み育て上げた人たちに年金を増やすと良いと思う。一人につきいくらか決めて。多人数なら、年金も多くした方が良い。【50代・女性】
- ・虐待しない親になるための子供の頃からの教育。【60代・女性】
- ・子供を育てていく環境がむずかしい。【50代・女性】
- ・大学無償化。【60代・男性】
- ・保育士の給与や手当を増やす。【40代・女性】
- ・自営業（経営している側）の人のための手当てや休業への充実。【30代・女性】
- ・お金がない。物価高騰しても給与は上がりず最低賃金。有給は自由に取れず子供育てるお金がない。【40代・女性】
- ・世帯収入の増加（特に男性）。【40代・女性】
- ・賃金や給与などの増加。【60代・女性】
- 長時間労働の解消と非正規労働者の削減及び賃金の不平等解消。【60代・女性】
- ・減税、社会保障費の削減。年収が500万を超えると子供を作るようになるのは統計で出ています。【30代・男性】
- ・それ以前に子供いる家族を優遇をするのはどうかと思う。【30代・女性】
- ・各人の「子供が欲しいと思う」子孫を残す動物としての意識改革。【60代・男性】
- ・子供を1人産んだら1000万給付する。【50代・女性】
- ・減税。【70代・男性】
- ・10代後半から20代前半の産後の就職支援やキャリア継続支援、20代後半から40代の産後のキャリアアップの機会の拡充。【30代・女性】

- ・そもそもの手取り金額の増加。【30代・女性】
- ・なんと言ってもやっぱり、子供が3人以上いる家庭は特に必要なのは手当だったりお金だと思います。【30代・女性】
- ・派遣社員制度。【80代以上・男性】
- ・高校生まで健康保険無償。【50代・女性】
- ・子供を養っていけるだけの十分な所得。【20代・男性】
- ・子育てが可能な十分な収入を標準的な労働者が公平に得ることができる国、企業、社会である事。氷河期世代に対する機会損失の補償。【40代・男性】
- ・病児保育の施設が欲しい、産科がないのはおかしいと思う。【40代・女性】
- ・自治体を含め労働環境の整備。それと補助等の充実番組。【70代・男性】
- ・男性の育児参加。女性がとした考えが根強い。【70代・女性】
- ・フルタイムで働かなくても生きられる賃金。【30代・女性】
- ・税金を取らない、子供手当高額支給。【30代・男性】
- ・三歳まで自分で保育したいと思える環境作りと当たり前にならない親としての意識の低さ。【40代・女性】
- ・母親と父親がともに子育てに参加するという意識が必要。【80代以上・女性】
- ・専業主婦で育児に専念できること。【30代・女性】
- ・父親も母親と同じように、子供の体調不良などでの呼び出しに応じやすい企業及び社会環境。【40代・女性】
- ・近くに産院があると良い。無痛分娩ができると尚良。【30代・女性】
- 恵庭市も札幌同様、二人目以降の保育料無償化希望。【30代・女性】
- ・女性の育児休業明けの職場復帰のポジション。育児休業は取得出来ても、長い期間んでいたら、戻れる仕事があるのか？という不安。【50代・女性】
- ・育児費の補助。【10代・女性】
- ・小学生の長期休暇時の子供の居場所に不安がある。【40代・女性】
- ・夫の年収を増やす。【60代・男性】

・社会に求める範囲を履き違えずに、夫婦が協力するなど自己努力はして、その上で当たり前にはキャリアをとぎれさせない制度を社会が作れていない。

【50代・女性】

・減税および景気の回復による明るい未来の展望 【40代・女性】

・所得が増えること。【30代・男性】

・子育てにはお金がかかるので、給料アップ。保育所に預けなくても専業主婦や扶養範囲内で、夫の収入のみで生活出来るだけの給料があれば、子供も安心して複数産み育てられると確信がある。【40代・女性】

・(回数制限があっても可)ベビーシッターを無償で利用できるようにする

【40代・女性】

・子どもを産み育てたいと思う意識を持てる環境が大事だと思います。

【70代・女性】

・産婦人科が恵庭にない。【40代・男性】

・育児を親身に手伝ってくれる人の存在。【40代・女性】

・出産までの医療機関が余りにも不足している。【70代・女性】

・子供が大学卒業まで安心して通える教育費の見直し。【50代・女性】

・障がい児サポート体制を整える。しんどい時にすぐ預けられる、障がい児の力を伸ばせるような教育サポートの充実など。【30代・女性】

・まずは経済回復。【50代・女性】

・子供が小さいうちのサポートだけではなく一番お金がかかってくる高校生以上ですが、授業料無償化などありますが年々値上がる制服や指定ジャージ、上靴、通学のための公共交通機関の交通費、修学旅行費など授業料以外でお金がかかることばかりです。そして近年の物価高騰ですが食べ盛りに食べさせない訳にはいかずなので高校生以上も、もう少し金銭面で手厚くサポートしていただくと少子化に少しでも歯止めがかかるかと思っています。 【40代・女性】

・ばらまきやめて、減税にシフト。子供を産むのが、金銭面でも生活を豊かにする一つとしないと、少子化は避けられない。 【40代・女性】

・幼少児がいる家庭の税無償化 【50代・男性】

・給付金の大幅増額。【40代・男性】

・病児保育があればなおいい。【40代・女性】

・育児休業の期間が短い。【60代・女性】

・消費税を軽減、気日本人ファーストな政策。【50代・男性】

・世帯収入を上げないと出産を計画する気にならない。【30代・女性】

・結局お金…あと近くに親がいるかどうか…相談できる人が近くにいるかは関係ない。【40代・女性】

・体外受精や人工授精高額医療の補助等がもっと充実してしましたらと、思います。【60代・女性】

・政治、政党が変わらないと意味がない事が30年の月日でわかる。

【40代・男性】

・女性が仕事育児を両立させるには大変厳しいと思う。人はロボットじゃないです。【60代・男性】

・”小規模な会社では育休なんて利用できません。妊娠したら退職の選択肢しかほぼ無いと思います。公務員や大企業で働いている人は少数派だと思いますが、小規模な会社で働く従業員のことはあまり考慮されていないと思います。”

【40代・女性】

・税金を無くし手取り収入が増え専業主婦になれる環境整備。

【10代・回答しない】

・”運動会の時短はどうかと思う。世代が交流できる機会は時間を減らさないほうがいい。子育てには多世代の協力が必須” 【40代・男性】

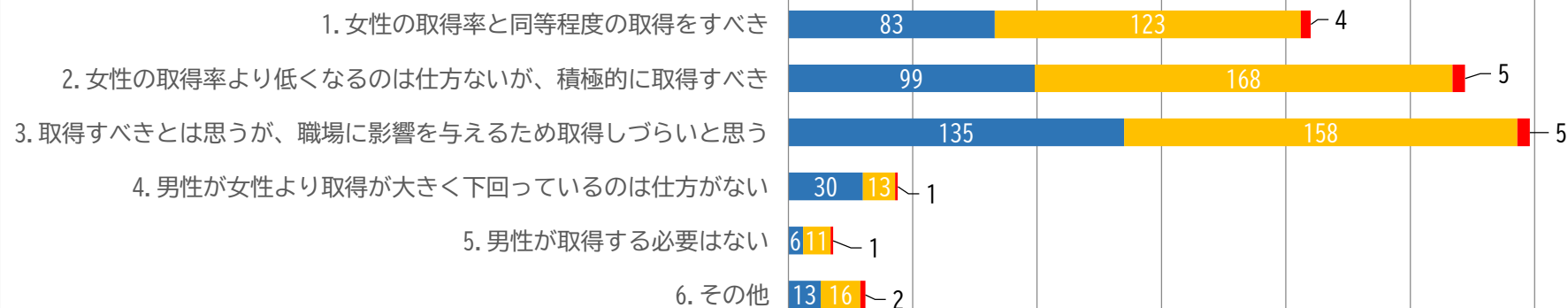
・共働きが必要ない所得。【60代・男性】

・給料のアップ。【70代・男性】

【3】男性の育児・介護休業取得は女性に比べ大きく下回っていますが、どのように思いますか。

問3 <育児休業> - 性別別

■男性 ■女性 ■回答しない



問3 <育児休業> - 年代別

■1. 女性の取得率と同等程度の取得をすべき

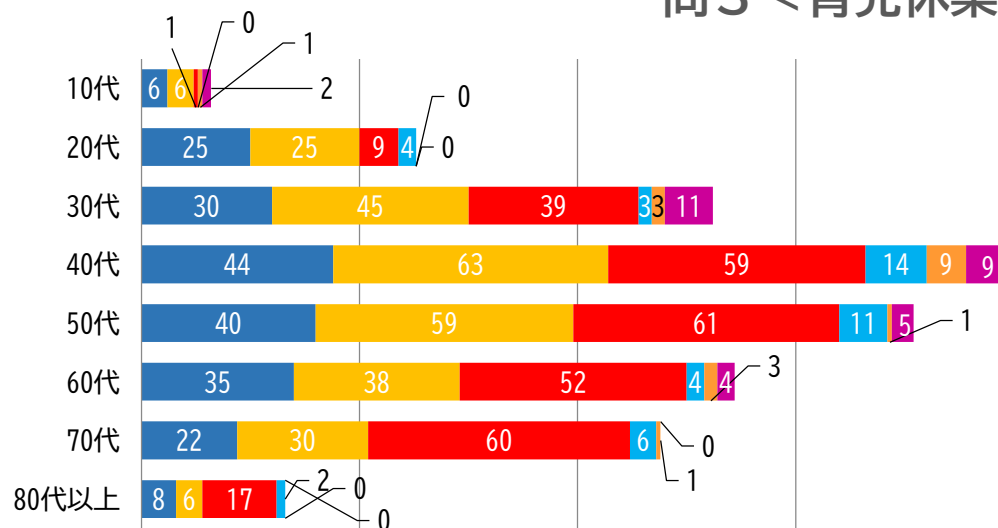
■2. 女性の取得率より低くなるのは仕方ないが、積極的に取得すべき

■3. 取得すべきとは思うが、職場に影響を与えるため取得しづらいと思う

■4. 男性が女性より取得が大きく下回っているのは仕方ない

■5. 男性が取得する必要はない

■6. その他



【問3<育児休業> 6. その他】の意見（原文ママ）

・代替職員で対応出来る余力がない。例えば勤務日は週4日となり、勤務時間だけでも2割弦である。【50代・男性】

・そもそも比率が低いのは当たり前のことである。女性は出産後育児休業を3年取得するが、男性が同じ期間休業していたら、どうその世帯は生きていくのでしょうか？質問を考えている方は子育てや出産を経験したことがないのでは？

【30代・回答しない】

・男性は育児に無関心な方が多い為。【50代・女性】

・私は育児のために退職しました。【60代・男性】

・個々の職業職場に合ったきめ細かな対応がしやすくなる会議から始められると良いですね。【70代・女性】

・男性は育児をしないから必要ない。【50代・女性】

・一時的な育児休業の取得よりも、残業0、出張0、休暇の取得のしやすさの充実を整備すべき。【30代・女性】

・男性が育児休業を取れるのは大企業だけ。【70代・男性】

・そもそも男の人で育児をしたいと思ってる人は少数のような気がする。取得は申請したら必ずできるものであり、家族のためになっているものでなきゃ意味がない。時間と手当双方あってこそだが、悪用する人もきつという。

【30代・男性】

・政府及び自治体のPR。【70代・男性】

・離婚しているためわからない。【30代・女性】

・男性の育休が果たして。【50代・女性】

・少子高齢化、人手不足、大企業以外は政府や自治体の予算で休んでもお金に企業も労働者も困らないようにする事。【30代・男性】

・男性が取得したとて実際即戦力になる男性は少数だと思う。【40代・女性】

・家庭における子育ての父親の参加が。【80代以上・女性】

・取得したいが生活出来なくなる。【30代・男性】

・短い育児休業はたいした意味がないと思うので、子供が幼稚園に入る年齢まで定時退勤を徹底して夜に育児に参加できるようにして欲しい。

【40代・女性】

・育児休業を取っても父親の休日が増えるだけで育児をしない。【40代・女性】

・男性も取得するのが望ましいが、『大きな子供』がただ居るだけなら無意味で、却って女性の負担が増えるので、男性の意識改革が必須である。

【60代・女性】

・男性は休業というと休むと認識する方が多いと思われます。意識改革が必要です。【40代・女性】

・そもそも4.5の様な考えを持つ様な人がいるから取りにくい。【30代・男性】

・前項で回答した内容の繰り返しになります。家庭と社会が成熟していない。

【50代・女性】

・男性の育児休業の有意義な活用。【40代・女性】

・男性が育児休業を取得した場合の賃金の保証。【40代・女性】

・所得が少なくなるから。【30代・男性】

・夫の収入が十分にあれば育児に参加してもらえなくても全く問題はない。とにかく低収入だと生活出来ないんだから、育児を手伝ってもらったからといってあまり有り難みは感じない。ご飯の支度や家事が増えるだけでは。

【40代・女性】

・同等の取得をすべきだが、残念ながらきちんと役割をこなしていない男性も出てくることも考えられる。【40代・女性】

・男性女性関係なく必要な人が取るべき。【40代・女性】

・男性は自分で子供を産むわけではないので、育児を経て父になっていくのだと考えると、父性の観点からも取得した方がいいのではないかと思う。

【40代・女性】

・それでいいと思う。【40代・女性】

・取得する前にどのような育児をすべきか指導会などあれば良い。

【30代・回答しない】

・男性は女性に比べて、育児時間も家事の時間もかなり少ないから。

【60代・女性】

・給与が補助されるとはいえ、減るのだから男性はためらうと思う。なら働いて
ってなと思います。【40代・男性】

・仕事の内容によるが、その人の代替えが効かない、または引き継ぎが大変な職
が多いのだと思う。生産性を担保できるマニュアルづくりを普段から行う企業が
増える事を願う。【40代・男性】

・男性が育児休業しても母乳あげられわるわけでも無く子供あやしも簡単に
出来ないです。 【60代・男性】

・男性が育休の意味を本当に理解して取得しているのか疑問に思う。

【40代・女性】

・世帯によって子育てのやり方が違うと思うので、夫の休業取得の割合が下回っ
ていても問題ないと思う。【30代・女性】

・各家庭の状況によるので男性、女性にこだわらなくて良いと思う。出産は女性
の身体に大きな影響を与えるので、回復の意味も込めて女性がとったほうが女
性に優しいと思う。【10代・男性】

・同程度に取得すべきと思うが、臨機応変に対処できる社会制度が必要。

【30代・男性】

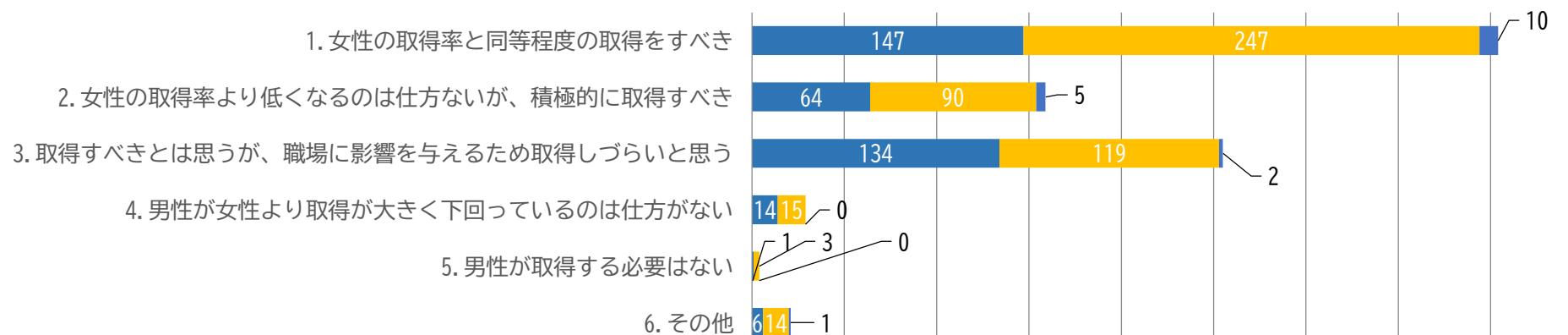
・男性こそ多く取得すべき。【10代・男性】

・取得中の保障をすることが出来れば100%..【70代・男性】

【3】男性の育児・介護休業取得は女性に比べ大きく下回っていますが、どのように思いますか。

問3 <介護休業> - 性別別

■ 男性 ■ 女性 ■ 回答しない



問3 <介護休業> - 年代別

■ 1. 女性の取得率と同等程度の取得をすべき

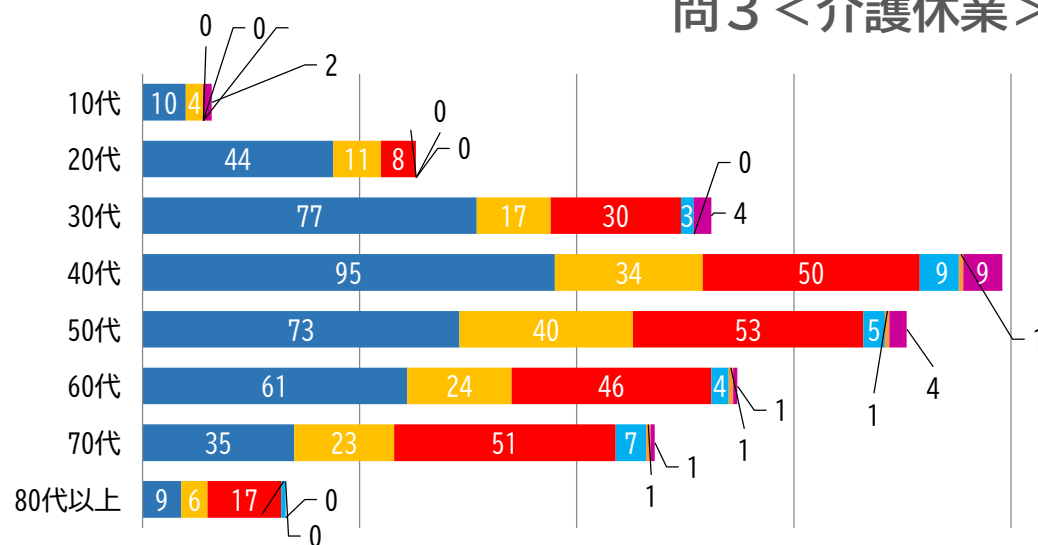
■ 2. 女性の取得率より低くなるのは仕方ないが、積極的に取得すべき

■ 3. 取得すべきとは思うが、職場に影響を与えるため取得しづらいと思う

■ 4. 男性が女性より取得が大きく下回っているのは仕方ない

■ 5. 男性が取得する必要はない

■ 6. その他

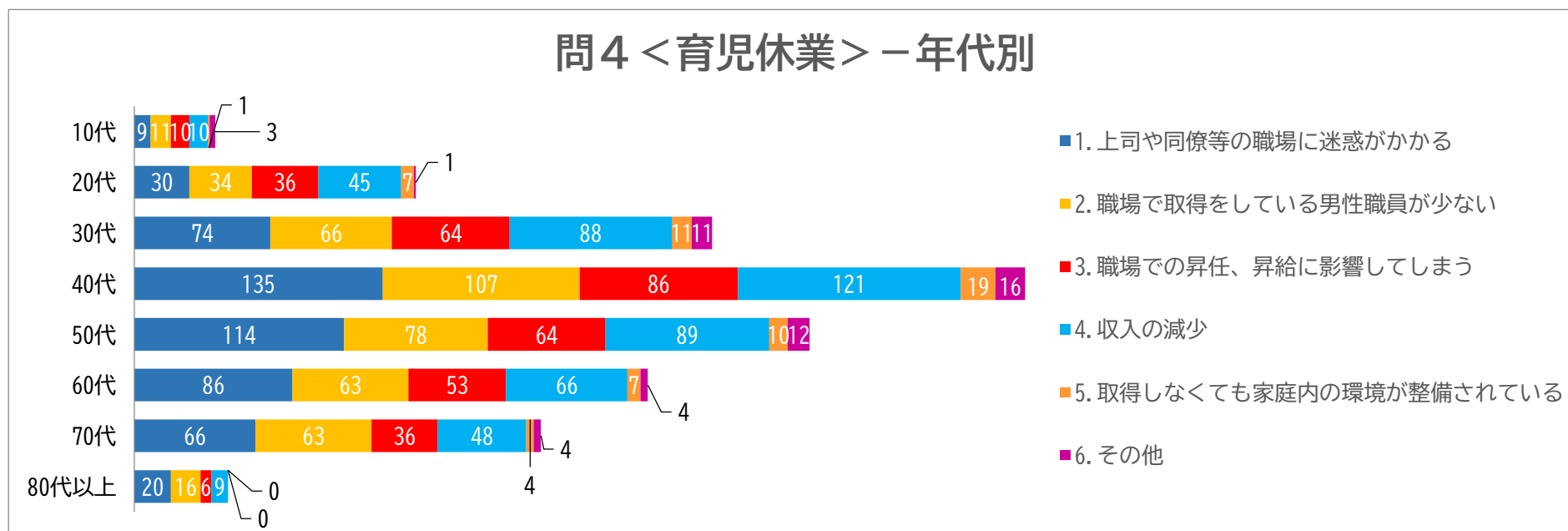
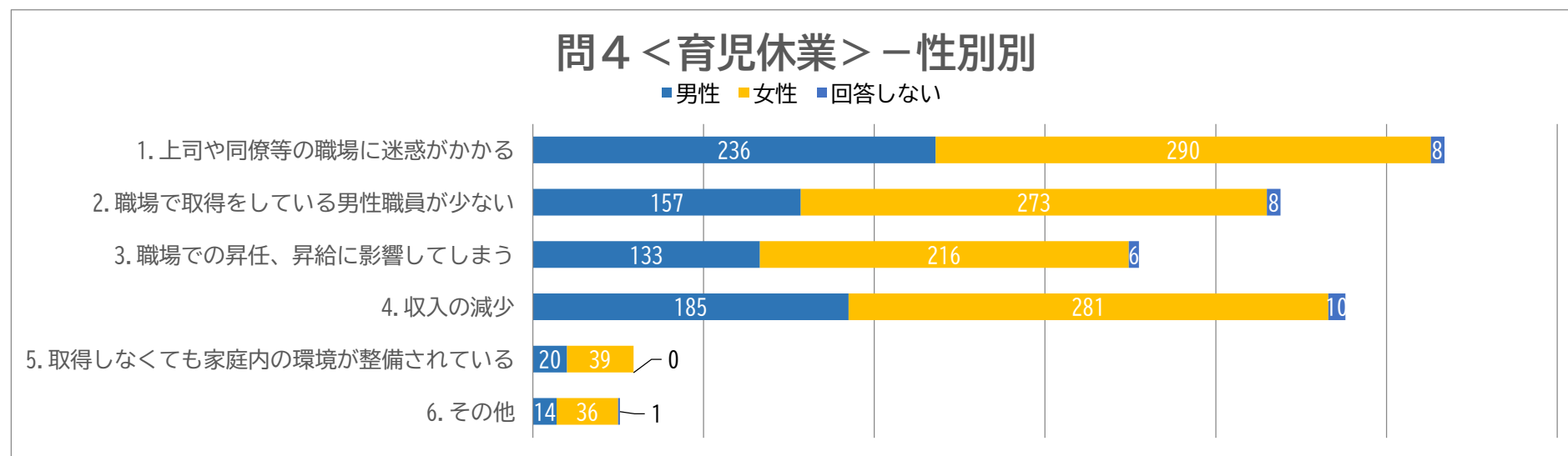


【問3＜介護休業＞ 6. その他】の意見（原文ママ）

- ・必要な際に取得しづらいならばそういう雰囲気はなくさなければならないが無理に取得率を合わせる必要はない。【40代・男性】
- ・仕事を休んでも女性と同程度の介護力がない男性が多い。【50代・女性】
- ・男性は介護に関して無能な方が多い為。【50代・女性】
- ・個々の職業職場により薦めるべき。【70代・女性】
- ・男性は介護もできないから必要ない。【50代・女性】
- ・介護休業自体取得しようと思わない。【30代・女性】
- ・特養の拡充整備。【70代・男性】
- ・介護休養をしてはいけない。【50代・女性】
- ・自分の親は子供本人でみるべき。【30代・女性】
- ・本当に女性の為になるのか。【50代・女性】
- ・自身の親なら、男性でも検討すべき。【50代・女性】
- ・今の国の環境に介護をする余裕がない。【30代・男性】
- ・なんとなく。【30代・女性】
- ・女性と同等に取得するべきだと思うが、それ以前に家事一般及び介護についての意識や知識・技術を学習しようとする意欲に乏しいのが問題である。
【60代・女性】
- ・実子が主に担当し、介護サービスとの窓口になるが良いと思う。【50代・女性】
- ・双方の結論に対する実現可能な環境。【40代・女性】
- ・問2と同じ。【40代・女性】
- ・介護保険に入ってもらって、お金がかからない生活をするべき。ただでさえお金がないのに、介護で想定外の出費があると健康で文化的な生活ができず負のループが出来る。【40代・女性】
- ・給与保証が無い以上わざわざ取る理由がない。【40代・女性】
- ・男性女性関係なく必要な人が取得すべき。【40代・女性】
- ・介護はよくわからない。【40代・女性】

- ・男性がというよりは1人ではなく複数人でやる方がいいと思う。
【40代・女性】
- ・問い2と同様だがこちらは補助があるかは知りません。【40代・男性】
- ・問3の1と同じ。【40代・男性】
- ・【8】と同じ理由。【30代・女性】
- ・介護が意味する幅が広いので、男性が！女性が！と考えるのが難しい。介護が必要な人に対して、恵庭市役所職員ではどれだけ介護休暇をとっているのか知りたい。日本全体で介護休暇の取得率が低いのが問題だと思う。【10代・男性】
- ・自分の親は自分でみればいい。【10代・回答しない】

【4】男性の育児・介護休業取得が女性に比べ低い要因はなにが原因だと考えますか。(複数選択可)



【問4＜育児休業＞ 6. その他】の意見（原文ママ）

・仕事回らないなど言い出す職場環境、職員の思考が悪く休暇を取得しづらい。

【30代・男性】

・職場の業務にそもそも余力がない。【50代・男性】

・国の法整備が未熟なため。【60代・女性】

・本人に積極的に関わる気持ちが無い。【60代・女性】

・女性は出産後育児休業を3年取得するが、男性が同じ期間休業していたら、どうその世帯は生きていくのでしょうか？生きていくにはお金がかかるからです。

【30代・回答しない】

・こどもを主体的に育てるのは一般的思想、能力的にも女性が向いているものだし、それが無意識にも理解していると思う。【40代・男性】

・男性の意識の低さ。【50代・女性】

・育児に無関心な為。【50代・女性】

・そもそも男性の育児意識が低いから、保育についての知識や義務教育で学ぶべき時間が足りないまま親になっている。【40代・女性】

・ギリギリの人数で働いていたら休むことは困難。【40代・女性】

・いまだに男性は仕事に行き、育児等は女性がするものという意識がどこかで残っているのでは。【40代・男性】

・企業側の意識の低さ。【50代・男性】

・男性の自覚が足りない。【50代・男性】

・過去のバイアス。【30代・男性】

・仕事上の責任の重さ。【50代・女性】

・育児に対する意識の低さ。【60代・男性】

・そもそもやる気がない。【50代・女性】

・2番以外は女性も同じであると言うことを男性側の職場や男性本人が理解していない。【30代・女性】

・必要性を感じていない。【30代・女性】

・女性側が取ってくれるからという古くからある意識。【20代・女性】

・世間体、会社の立ち位置などの言い訳がたくさんできるからやらない。そもそもやらなきゃいけないと思っていない。【30代・男性】

・そもそも育児を主体的に行う意識が低い。【40代・女性】

・父親本人と職場の、育児に関わるべきだという認識の欠如。【40代・女性】

・子育て含め家事全般を妻の仕事だと思いこむ男性が多いから。

【30代・回答しない】

・積極的に取らせるために働きかける管理職の意識の低さと新しい時代を受け入れられない頭のかたさ。【40代・男性】

・理解してくれる職場がまだ少ない。【40代・女性】

・育児は女性の仕事だと思われるから。【10代・女性】

・社会や男の一部に育児を他人事と思っている層がいる。【50代・女性】

・甘え。【30代・女性】

・男性の育休が女性の為になるのか疑問。【50代・女性】

・少子高齢化で大企業以外余裕がない。【30代・男性】

・男性も育児や介護をする事に対して意識が低いから。【40代・女性】

・面倒だから？ 【30代・女性】

・女性の仕事ととらえている男性が多い。【50代・女性】

・社会全体の意識。【40代・女性】

・取りたいと思っていない。【40代・女性】

・上記のような懸念も休むという認識からきていると思うので、社会全体の意識改革が必要だと思います。【40代・女性】

・女の仕事だと思っているため。【10代・女性】

・女性が担うべきという古い考えから脱却できていない。【50代・女性】

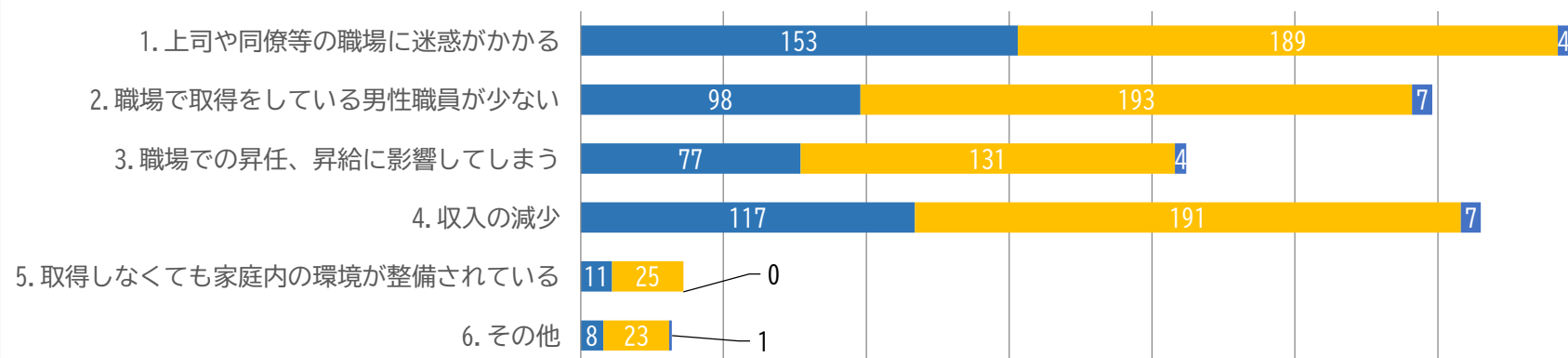
・家庭の主な収入源が男性になるため金銭的な要因と今までの家のことは女性がすべきという古い社会常識を未だに引きずっているため。【30代・女性】

- ・男性の当事者意識の問題があると思う。【50代・女性】
- ・妻に甘えてんでしょな。【50代・女性】
- ・配偶者に対する甘え。 【40代・女性】
- ・自分の問題と捉えていない認識の差と男性社会の理解の無さ。【30代・女性】
- ・必要性の認識力。【40代・女性】
- ・一家の大黒柱の夫が仕事休むと、収入が減ったり通常勤務に影響があるので
はと思う。【40代・女性】
- ・相互理解の低さ 【40代・女性】
- ・まだまだ父親の育児の認知度が低い。【70代・女性】
- ・必要な休みであっても休むことが悪だという風土の問題。【40代・女性】
- ・男性優位になっているため。【50代・女性】
- ・男性の上司には伝えづらい。【20代・女性】
- ・仕事の責任度合いの意識の違い。【50代・女性】
- ・一般男性が出来る行為が限られている。 【60代・女性】
- ・そもそも意識的にないと思う。女の仕事みたいな感じ。そのくせ女は仕事もし
てるのに少ない看護休暇と自分の有給で立て替えて仕事してる。それを当たり
前だと思ってるんだと思う。自分のために有給なんてない。【30代・女性】
- ・母乳育児の場合、母親は必ず必要だが父親はサポート程度で十分だから。
【40代・女性】
- ・介護はよくわからない。【40代・女性】
- ・中小企業では無理。【60代・男性】
- ・就業していないので解らない。【70代・男性】
- ・職場環境と本人の意識の問題。 【70代・男性】

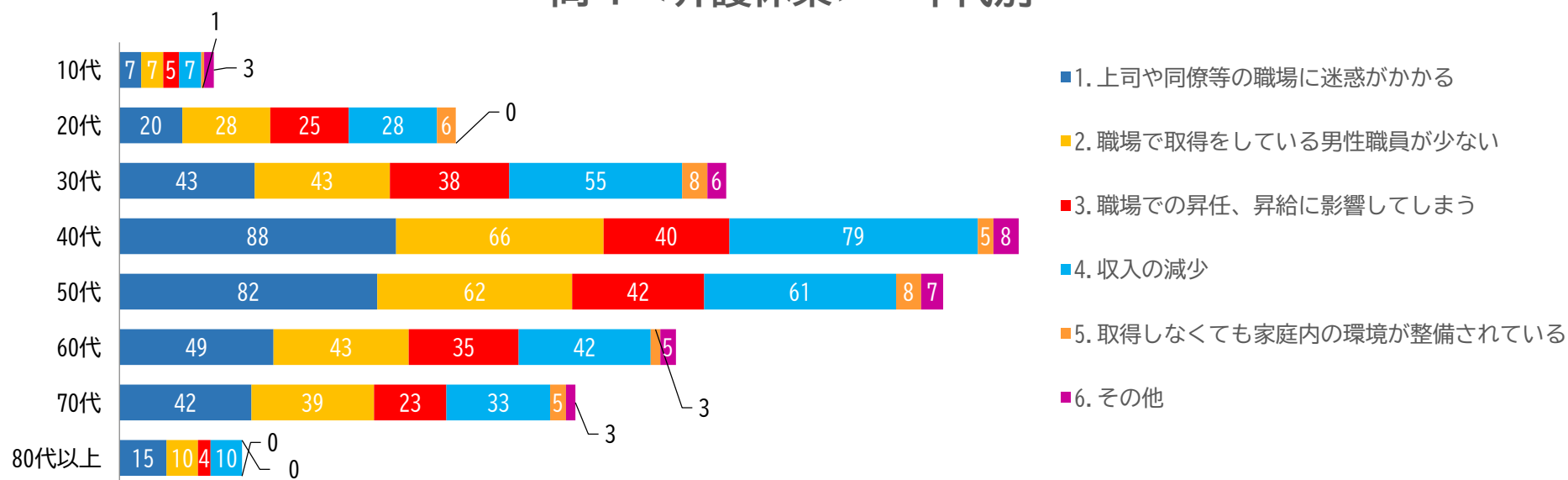
【4】男性の育児・介護休業取得が女性に比べ低い要因はなにが原因だと考えますか。(複数選択可)

問4 <介護休業> - 性別別

■ 男性 ■ 女性 ■ 回答しない



問4 <介護休業> - 年代別



【問4＜介護休業＞ 6. その他】の意見（原文ママ）

- ・本人に積極的に関わる気持ちが無い。【60代・女性】
- ・大きい組織なら代替が利くが小さな組織の者は変わるものがない場合がある。【40代・男性】
- ・介護に関して無能な為。【50代・女性】
- ・育休と同じ。【50代・男性】
- ・男性の自覚が足りない。【50代・男性】
- ・バイアス。【30代・男性】
- ・仕事上の責任の重さ。【50代・女性】
- ・介護に対する意識の低さ。【60代・男性】
- ・そもそもやる気がない。【50代・女性】
- ・同上【30代・女性】
- ・必要性を感じていない・自分がやるべき事として捉えていない。【30代・女性】
- ・お金で解決。【40代・女性】
- ・育児休業の意見と同じ。【30代・男性】
- ・周りの目や対応かと思います。【30代・女性】
- ・介護は女性の仕事と思っているから。【40代・女性】
- ・自分は無関係だと思っているから。【30代・女性】
- ・育児と違い終わりが見えない。【60代・男性】
- ・男性の介護に関する意識が低いことが要因と思われる。【60代・女性】
- ・女性が主体であるものという考えが根本にあるから。【30代・女性】
- ・1,3,4など複合している。【40代・男性】
- ・理解してくれる職場が少ないのでは。【40代・女性】
- ・介護も女性の仕事だと思われるから。【10代・女性】
- ・介護は女が担うべきと思っている層がいる。【50代・女性】
- ・仕方なく嫁がやらされているのでは。【50代・女性】
- ・仕事、家庭全てに余裕がない。【30代・男性】

- ・面倒だから？【30代・女性】
- ・女性の仕事ととらえている男性が多い。【50代・女性】
- ・職場の理解が無く、認められない。実際は有給休暇を使われる。【40代・女性】
- ・①と同様【40代・女性】
- ・育児と同じです。【30代・男性】
- ・上記に同じ。【50代・女性】
- ・家事育児介護経験がないためやろうと思わないから。【50代・女性】
- ・思い違いをしてるんでしょうかね。【50代・女性】
- ・配偶者に対する甘え。【40代・女性】
- ・問3と同様。【30代・女性】
- ・現実逃避。【40代・女性】
- ・一家の大黒柱は休むべきではない。収入が減っては生活出来ない。【40代・女性】
- ・他人任せにして逃げているから。【40代・女性】
- ・介護の仕方や考え方がよくわからない。【70代・女性】
- ・必要な休みであっても休むことが悪だという風土の問題。【40代・女性】
- ・男性優位になっているため【50代・女性】
- ・女性に比べて、家事も介護も出来ない。介護休業は男性ももっと取得すべき。【60代・女性】
- ・国の財務余剰分を福祉に。【50代・男性】
- ・介護世代の男性は家事能力が低く、介護では重労働しか役に立たないから【40代・女性】
- ・介護はよくわからない。【40代・女性】
- ・家事もまともにできない男性が介護なんて出来るのでしょうか？【40代・女性】
- ・介護に対する意識の低さ。【30代・女性】

・育児とは具体的にどうしたらよいのかが男性の方がわからないと思う。未知のことへの不安から取得率が低いのもあると思う。そういう学習が義務教育ではほぼなかったと思う。【10代・男性】

・介護される世代が嫌がる人が多い。娘や嫁にと思っているため。

【50代・女性】

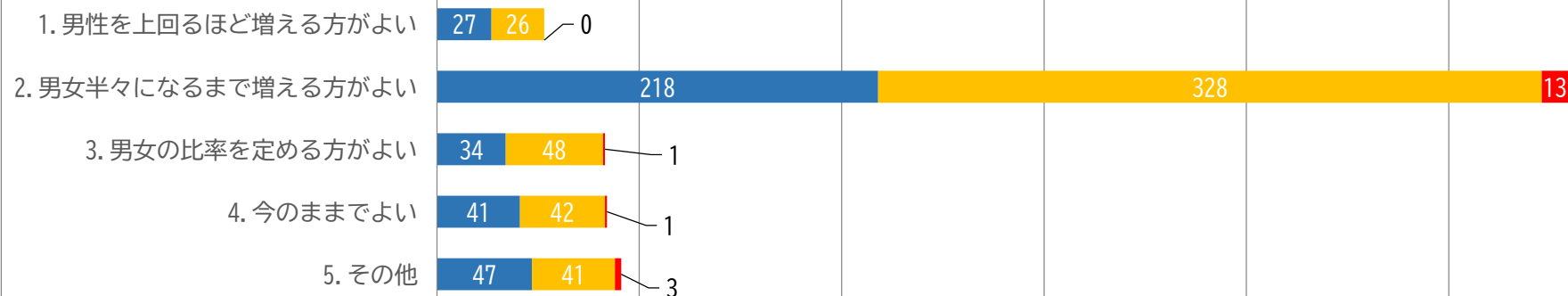
・就業していないので解らない。【70代・男性】

・職場環境と本人の意識の問題。【70代・男性】

【5】近年、議会や審議会などの政策決定の場に女性の参画が少しずつ増えてきましたが、どのように感じますか。

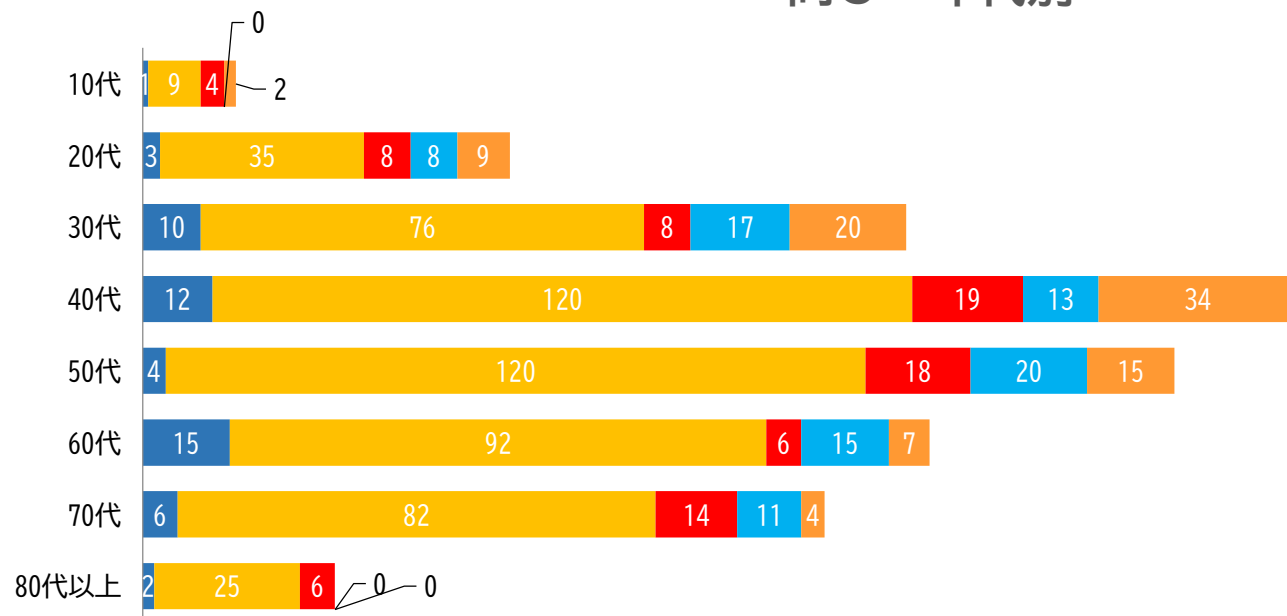
問5－性別別

■男性 ■女性 ■回答しない



問5－年代別

■1. 男性を上回るほど増える方がよい
 ■2. 男女半々になるまで増える方がよい
 ■3. 男女の比率を定める方がよい
 ■4. 今のままでよい
 ■5. その他



【問 5 5. その他】の意見（原文ママ）

- ・感情的ではなく物事を客観的に思考できる人物が然るべき立場でいてもらえれば男女比は気にならない。【30 代・男性】
- ・極端にならなければ比率などは定めなくて良いと思います。【30 代・男性】
- ・増えることは良いことだが、単に増えれば良いというわけでもない。一定の資質を持った人になるべき。【40 代・女性】
- ・性別は関係なく能力で選ぶべきだと思います。【40 代・女性】
- ・能力のある方がやるべきで男、女と過度にすみ分けするのは男女平等とはならない。【20 代・男性】
- ・半々にすることに執着するのではなく、能力が有る方が参画すべき。【50 代・男性】
- ・無理に女性を増やす必要はない、この施策のために増やすという行動が多くあり、なんの知識や経験もない女性を無理やり参加させているところが多くみられる。【30 代・回答しない】
- ・無理に形や比率だけそろえるのは愚かだと思う。【40 代・男性】
- ・能力によって比率は決まると思うが、日本は能力があっても男だけで決めてきた背景があるので、マインドを変えるべき。【30 代・男性】
- ・女性や男性と括らず、適切な人材を配置すべき。【40 代・男性】
- ・人数割合よりも質の良さ。【20 代・女性】
- ・団体推薦すると役職者が男性が多いので半々は難しいと思う。【40 代・男性】
- ・男女に関係なく、偏りのない政策を考え決定できる人が参画すれば良い。【50 代・女性】
- ・その時々で力のある人がいるかどうかによるから。【50 代・女性】
- ・自然に任せる。【60 代・男性】
- ・比率を考えている時点で論外。男女ではなく人。【40 代・女性】
- ・男女問わず優秀な人が行るのが良い。【50 代・男性】
- ・割合を決めず、なりたい、なれる人がなれば良い。【20 代・男性】

- ・増えるべきだと考えるが、女性の意見を聞くべき。【50 代・男性】
- ・人口の男女比に比例するのが望ましいと考えます。【40 代・女性】
- ・自然に任せるのが良い。【40 代・女性】
- ・半分近くになると良い。【70 代・女性】
- ・男女ではなく個人の能力で。【50 代・女性】
- ・男性女性気にする必要がなくなれば良い。【30 代・男性】
- ・女性が参加してもしなくても影響はない。【50 代・女性】
- ・女性は感情論が多く蓮舫のように混乱を招くだけ。【70 代・男性】
- ・性別を意識することなく、能力や技能で普通に判断すべき。女性参画と全面に打ち出すことで、逆に女性の立場が苦しくなることもある。【40 代・男性】
- ・自然に任せる方が良い。【40 代・男性】
- ・性別だけの問題でもない。【40 代・男性】
- ・ちゃんとしてる人であれば性別は問わない。男だらけだから不正とか多いとかであればだが、ちゃんとするを出来ていれば男女問わないと思うのだが。【30 代・男性】
- ・特に何も感じない。【40 代・女性】
- ・男女比率関係なく相応しい方が参画すればいいと思う。比率がどうのこの自体が古いと思う。【40 代・男性】
- ・平等？半々ではないと思う。育児も家事も女性の負担比率が多いうちは、家庭以外の場面で女性は活躍しづらい。仕事は男性と平等に？？家事や育児は女性がメインは、平等ではない。【30 代・女性】
- ・女性比率ありきでは無い、適任者が就任すれば良い、男女共に不適格な人物が比率保持のために就任し、結局運営に支障をきたし不利益が生じているケースが散見している、女性の社会進出のためのひとつの手段ではあるが目的化して比率を上げれば良いと言うものではない。【40 代・男性】
- ・真面目で優秀であれば性別は関係ない。【30 代・女性】

・答えはないと思う。大事なものは、男女比ではないと思う。男女比にこだわるのは世の中からの見かけを気にしているからとも思える。本質は男女の数ではなく、行っている事への内容が重要だと思う。世の中はジェンダーと言っているのに、男や女にこだわるのはおかしいとも思う。【50代・女性】

・男性であろうと女性であろうと改革改新に役立つのであれば、比率の問題ではなくなる。【50代・女性】

・男女の比は関係ない。【50代・女性】

・良いと思うが、女性の人数や比率よりも、政策決定に関わるような選ばれた人は性別以上に資質能力を鑑みるべきと考える。【40代・男性】

・数にこだわらず能力のある人が参加すればよい。【40代・男性】

・個々の能力が優れているか、男女の数ではない。【70代・男性】

・男女と区別する必要はなく、女性の参画意識があり、要件を満たせばそれで良いのでは。【60代・男性】

・上層部が男性ならいくら女性を増やしても意味がないと思う。【40代・女性】

・男女の比率の関係より適材適所(男か女かではなく)【60代・男性】

・女性が増える事で男性との視点の違いから新しいアイデアや意見が生まれるのは素晴らしい事なので増えるべきとは思いますが、ただ「女性の人数」を増やすでは本末転倒だと思う。男性も同様である。【30代・男性】

・素晴らしい事だと思います。【40代・男性】

・どちらでもいい。【30代・女性】

・労働人口の男女比。【30代・男性】

・男女の別ではなく、能力で判断すべき。【30代・男性】

・男女の別ではなく、必要な能力の有無。【60代・男性】

・女性が増えるのは良いと思うが能力が無いのに女性だからと採用されるのは違う。能力が無い人が参加しても場を乱したり合理的な判断ができず変な改革が進んだり結果的に良くないことになるのが目に見えているから。能力があればどんどん女性にも参加して欲しい。【30代・女性】

・男女にこだわる必要はない。【40代・女性】

・優秀なら男女問わずでよいが。やみくもに女だからと数だけ揃えても意味がない。【50代・女性】

・比率を気にする事なく、能力によって登用することが望ましい。【50代・男性】

・性別の比率は問わないが、性別によって不利になる政策(女性に対する解像度の低い政策)を無くして欲しい。【20代・女性】

・双方の意見の尊重は重要であり、議会の濃度を上げる方が必要である。【40代・女性】

・必要なスキル持っている方が参画すべきで、そこには男女を問わない。【70代・男性】

・男女問わず能力で決めるべき。【50代・女性】

・どうでも良い。【40代・女性】

・性別に関しては関係ないと思う。【30代・男性】

・特に何も感じない。能力のある者ならば男女問わず参画すれば良いと思う。【20代・男性】

・難しい問題 比率で優遇することにも是非があるので考え続けたいが、きちんと考えられる女性を増やすことも大切 感情論で正当な議論ができない女性が増えてもよくないので。【40代・女性】

・無理に増やそうとしなくてよい。参加したい方が参加できる環境で、男女の比率を考える必要はないと思う。【20代・女性】

・特別割合だけを気にする必要はない。【40代・男性】

・男女で区別する必要はない。【40代・男性】

・そもそも、個人の能力によるものであり、性別分けすること自体が時代にそぐわなくなっているかも。【50代・回答しない】

・女性の参画増については男女の能力技量が関係してくることもあると思われ男女の別なく考える意識改革が重要だと思う。【70代・女性】

・男性優位になっているため。【50代・女性】

・男性や女性の比率で考えるよりも、一定の能力で考えるべき。【40代・女性】

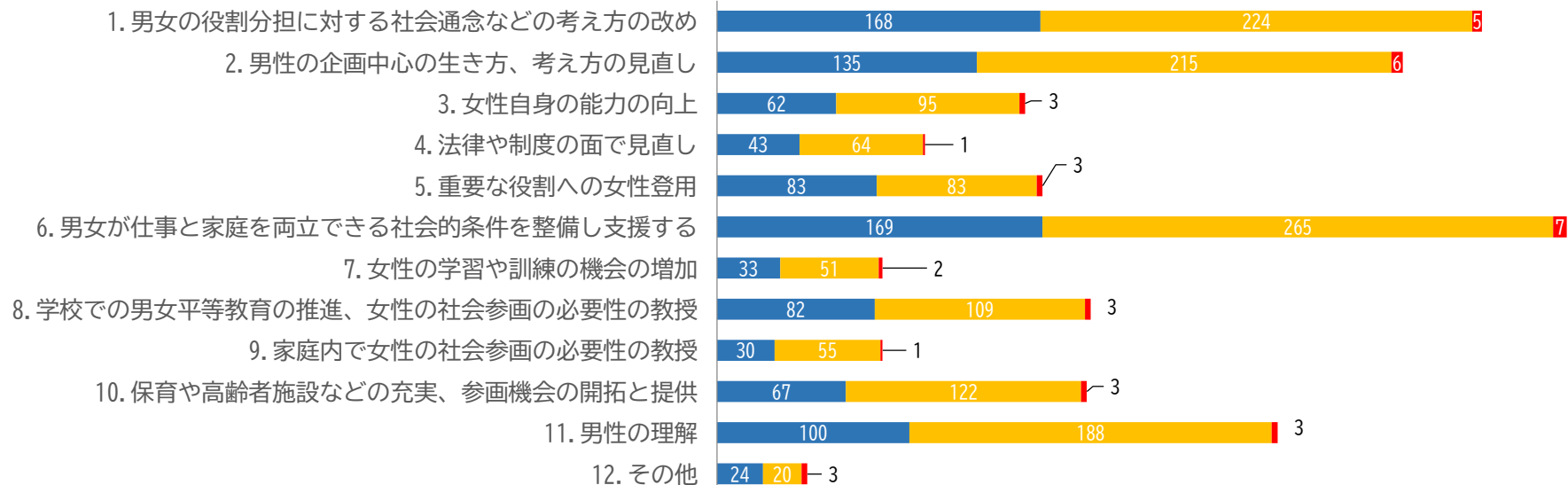
・こだわらず、能力があればよい。【20代・男性】

- ・議会に興味無い。【30代・女性】
 - ・差別意識はないので、流れに任せる。【50代・男性】
 - ・しっかり出来る人であれば、男女どちらでもよい。比率を決めるのではなく、能力で決めるべきこと。【40代・女性】
 - ・男女関係なく能力がある人がやればいい。【40代・男性】
 - ・常に必要な形になっているのでその時の流れに身を任せても良いと思いました。【50代・女性】
 - ・人数は半々で問題ないが、発言の影響力や権利については性別関係なく平等であることを意識してもらいたい。【20代・男性】
 - ・どちらでもいい。【40代・女性】
 - ・パフォーマンスのために無理やり女性を増やす必要はない必要。【40代・女性】
 - ・よくわからない。【40代・女性】
 - ・男女問わず個人を尊重すべきと思う。わざわざ男女比を検討するまでは無いと考えます。【40代・男性】
 - ・性別を問わず、お互いを尊重しあいな議論を進められればと考えます。
- 【60代・女性】
- ・適材適所、必要であれば男女の区別はいらないし意味がない。全ての話し合いにおいて、男女それぞれの視点での意見を聞く事が大事。あとそれをまとめる人も大事。【40代・男性】

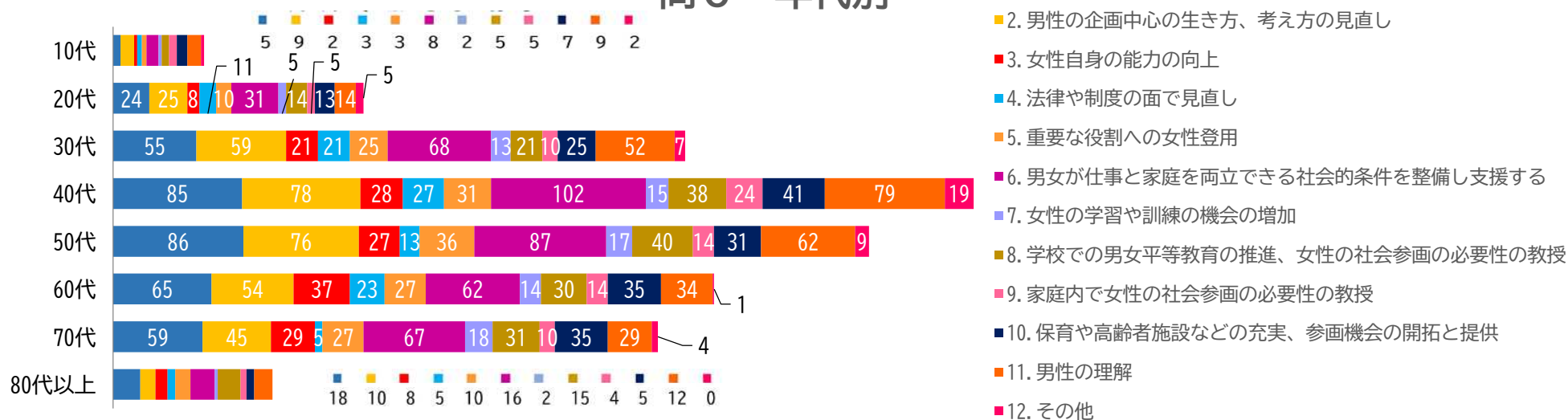
【6】町内会やPTAなどの地域活動で、女性のリーダーを増やすためには、なにが必要だと思いますか。(複数選択可)

問6－性別別

■男性 ■女性 ■回答しない



問6－年代別



【問 6 12. その他】の意見(原文ママ)

- ・3 の選択肢を設定することを恥じること。【50 代・男性】
- ・前述と同様。【20 代・男性】
- ・やる気や能力が有る方を充てるのであって単純に女性だけを増やそうとするのは理解出来ない。【50 代・男性】
- ・無理に増やす必要はない。施策のために増やすという行動が多くあり、とても無駄に感じる。【30 代・回答しない】
- ・女性も男性にやってもらおうと考える人がいるので、男女問わず、業務について理解しての参加が必要。【40 代・男性】
- ・ただ、女性が少なく男女の認識差が上手く埋まらない現実もあるため視点を増やすため人が増えてほしくもある。【20 代・女性】
- ・女性の能力的に、難しい人もいる。【50 代・女性】
- ・参加できる時間を会社が理解してくれればできる。【40 代・女性】
- ・男女問わず民主的に選ばれた人がやれば良い。【50 代・男性】
- ・自然に任せるのが良い。【40 代・女性】
- ・報酬。【50 代・女性】
- ・家庭で女性が担う仕事が多すぎるので家族のサポートが不可欠。
【50 代・男性】
- ・問 5 の回答と同様、能力で公正公平に判断された結果、たまたま女性が少なかったというだけのことなら納得できるものである。【40 代・男性】
- ・不倫しやすいから、女性のリーダーはいらない。【40 代・女性】
- ・男女で分けて考えるべきではないと思う。【40 代・女性】
- ・女性比率ありきでは無い、適任者が就任すれば良い、男女共に不適格な人物が比率保持のために就任し、結局運営に支障をきたし不利益が生じているケースが散見している、女性の社会進出のためのひとつの手段ではあるが目的化して比率を上げれば良いと言うものではない。【40 代・男性】
- ・今のままでいい、なりたい人はなれる。【30 代・男性】

- ・町内会を 10 年も 20 年もしてる方々が多すぎるので 自治体としては 少々考える時期ではないでしょうか。【70 代・男性】
- ・そもそも町内会や PTA に興味が無い人、やりたくない人が多くいる社会になってきている。多様性の世の中で男だ女だという事自体違うと思う。リーダーに性別を当てはめるのは良くないと思う。【50 代・女性】
- ・増やさなくてよい。これ以上の負担を強いるべきでない。【30 代・女性】
- ・男性だろうと女性だろうと改革改新の役に立つのであれば、そもそも比率にはこだわる必要はないと思う。【50 代・女性】
- ・町内会必要ない。個人情報扱いが雑。【40 代・女性】
- ・組織としての町内会や PTA の見直し。【60 代・男性】
- 恣意的に女性のリーダーを増やす必要は無く、リーダー的役割を担いたいと考える女性の存在とそれを支持する周囲の 2 つが両立されている場合のみに女性のリーダーを立てればいい。【20 代・男性】
- ・同数とは言わず、男女問わずやる気のある人は参画するべきだと思います。
【40 代・男性】
- ・育児、仕事、家庭内の細々としたこと、介護をしながらリーダーをやるのは家族の支えないと無理だと思う。【40 代・女性】
- ・女性にこだわる必要はないと思う。【30 代・男性】
- ・10 でいう充実とはシンプルにそこではたらく人の給与を高くして良い人材が集まるようにしてほしい。実際に父を預けていた市内の老人ホームは酷かった。プロが不在だった。【50 代・女性】
- ・家庭における女性の負担の軽減。【30 代・女性】
- ・上記同様、平等な視点を持ったリーダーであれば性別は問わない。
【20 代・女性】
- ・男女の視点を捨てる適正があれば男女に拘らない。【70 代・男性】
- ・男女にこだわる必要はない。【40 代・女性】

・金銭面や時間に余裕がないのに家庭以外で役員とか無理。【50代・女性】

・女性に何足の草鞋を履かせれば気が済むのかと思う。仕事、家事、育児、介護…いつも泣きそうなのにどこまで搾取するつもりなのか。社会の仕組みが変わらなく週40時間勤務である以上、他にも関わる余裕なんてありません。

【40代・女性】

・相互理解【40代・女性】

・無理に増やす必要はない。男女とも、やる気と能力があればリーダーに据えて良い。【40代・男性】

・男性優位な雰囲気になっているため。【50代・女性】

・地域活動が本当に必要か、今の形にこだわることなく模索すべき。

【40代・女性】

・年寄の考えが古い、若者に任せる寛容が必要。【40代・女性】

・興味無い。役に立ってないから。【30代・女性】

・PTAも町内会も、今の時代にあってない。必要ならばあり方から見直すべき。

【40代・女性】

・時代にそぐわないものは廃止してほしい。例えば回覧板の電子化。

【40代・男性】

・女性の意識の変革。【50代・男性】

・男女は関係なくできる人がやる方がいい。【40代・男性】

・女性の積極性の向上。【30代・男性】

・この部分は性別によって比較されるべきではない。手の空いている者で能力が適している者が担当の方が合理的。【20代・男性】

・赤ちゃん抱えてる家庭に町内会の班長やらせられた時点でもう終わってるなと思う。年功序列だからしかたないらしいです。町内会入ったことにすら、後悔してる。【40代・女性】

・女性の意思の尊重。【40代・男性】

・女性リーダーを増やす目的がわからない。必要であれば性別は関係ないと思うので、僕自身のまわりは女性リーダーは多いです。【40代・男性】

・性別に囚われない考えが必要だと思う。【10代・男性】

・年寄りはいらない。【10代・回答しない】

・そもそも、女性のリーダーが増えるかどうかはやる気のある女性がいるかどうかで、育児、介護を男性が積極的にやる環境整備は必要だと思うが、男性じゃなきゃ駄目だ、なんて意見は既に無いと思う。もっと活躍したいからどうにかして欲しいという意見が女性から挙がっているのか…。【40代・男性】

・PTAは母が行なうのがあたり前となっており、女性リーダーより男性の介入を積極的に行うべき。【30代・女性】

・わかりません。【60代・女性】

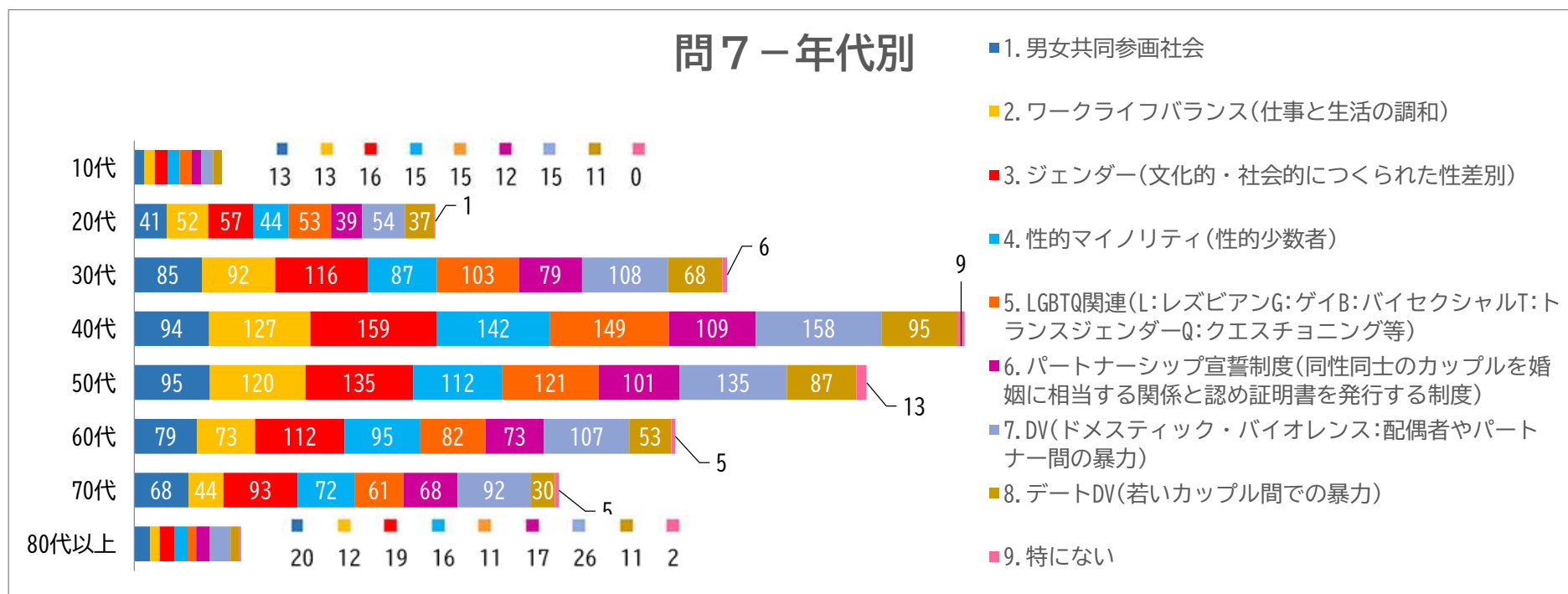
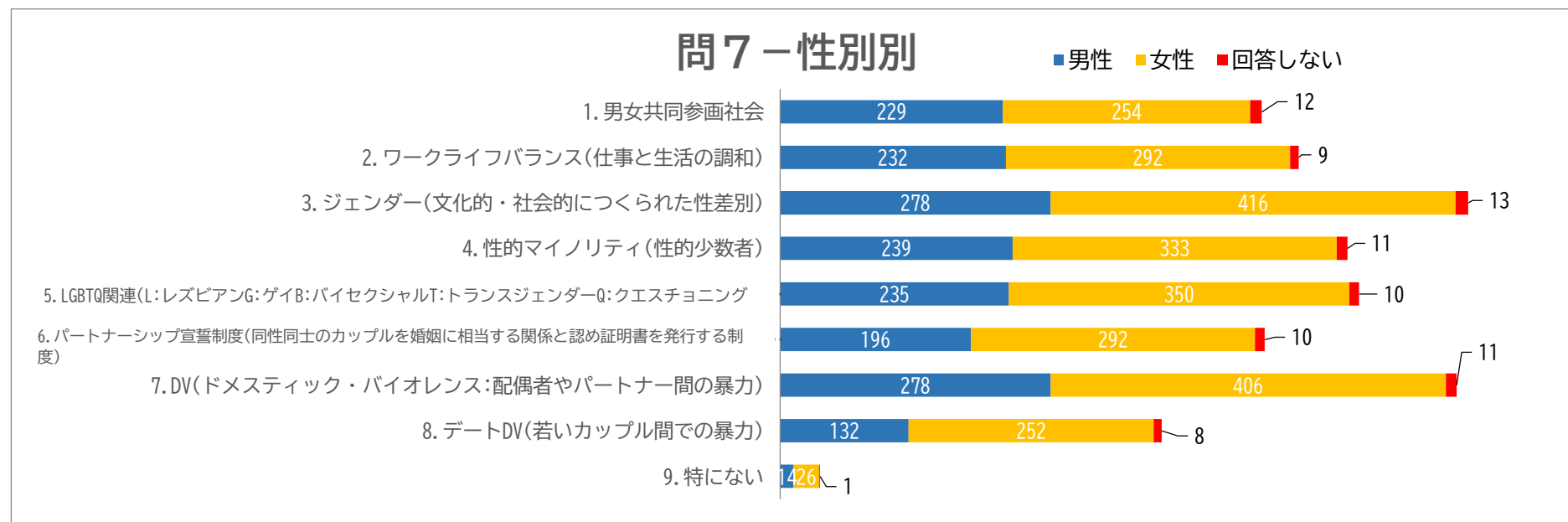
・なぜ、女性のリーダーを増やしたいんですか？リーダーは男女問わず選ぶべき、責任をもってやりたい人にやらすべき。【60代・女性】

女性のリーダーとかではなく性別を関係なく能力で選ぶべき。

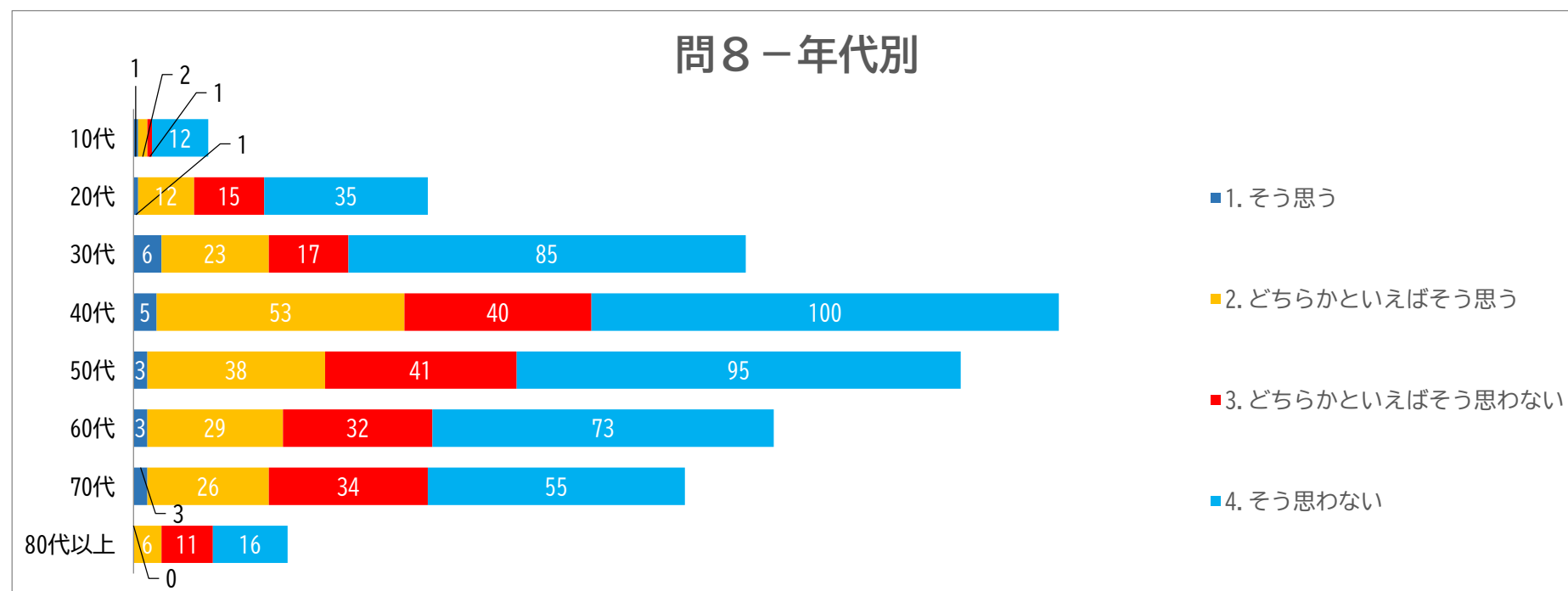
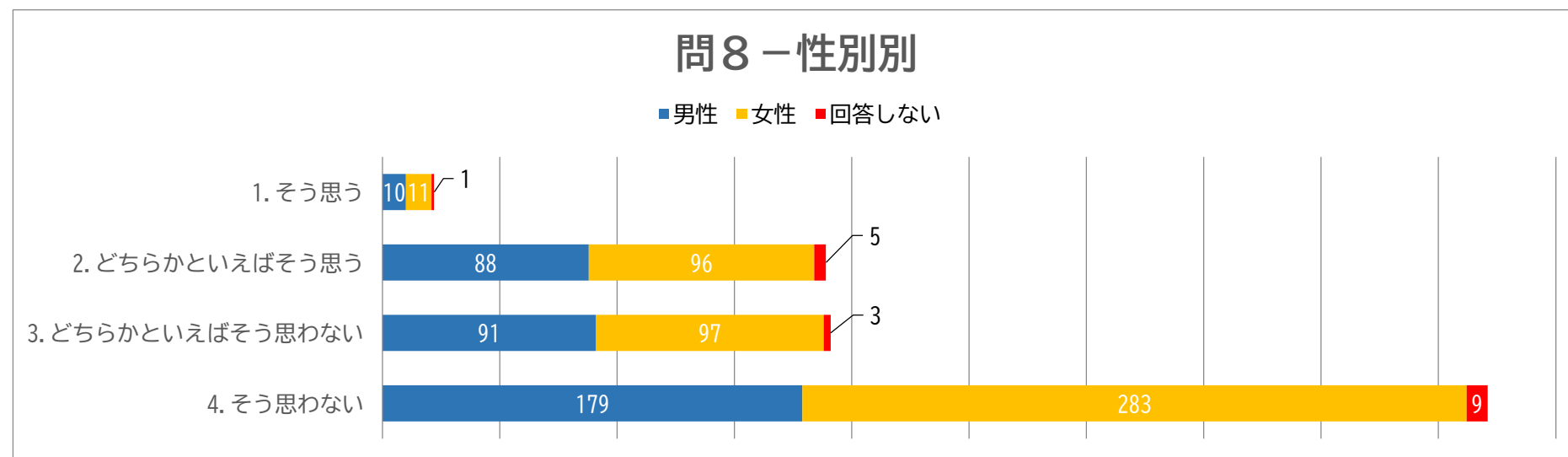
【70代・回答しない】

むりに増やさなくても良い。【70代・男性】

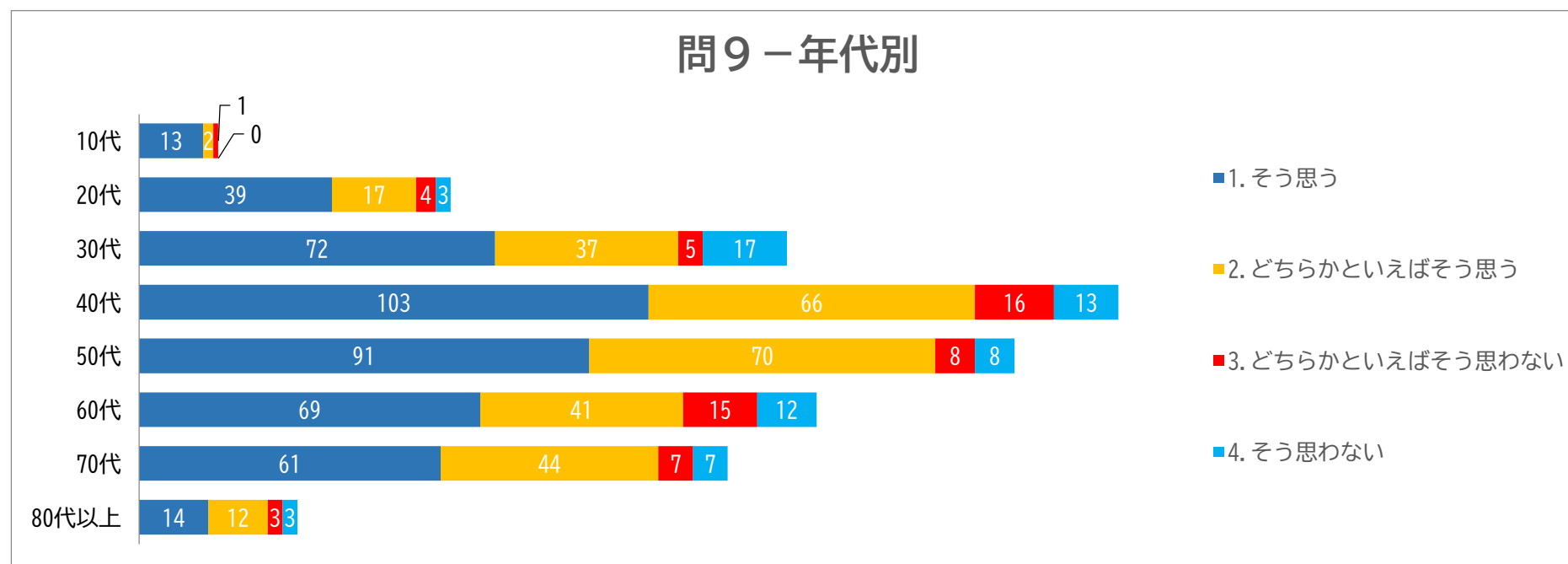
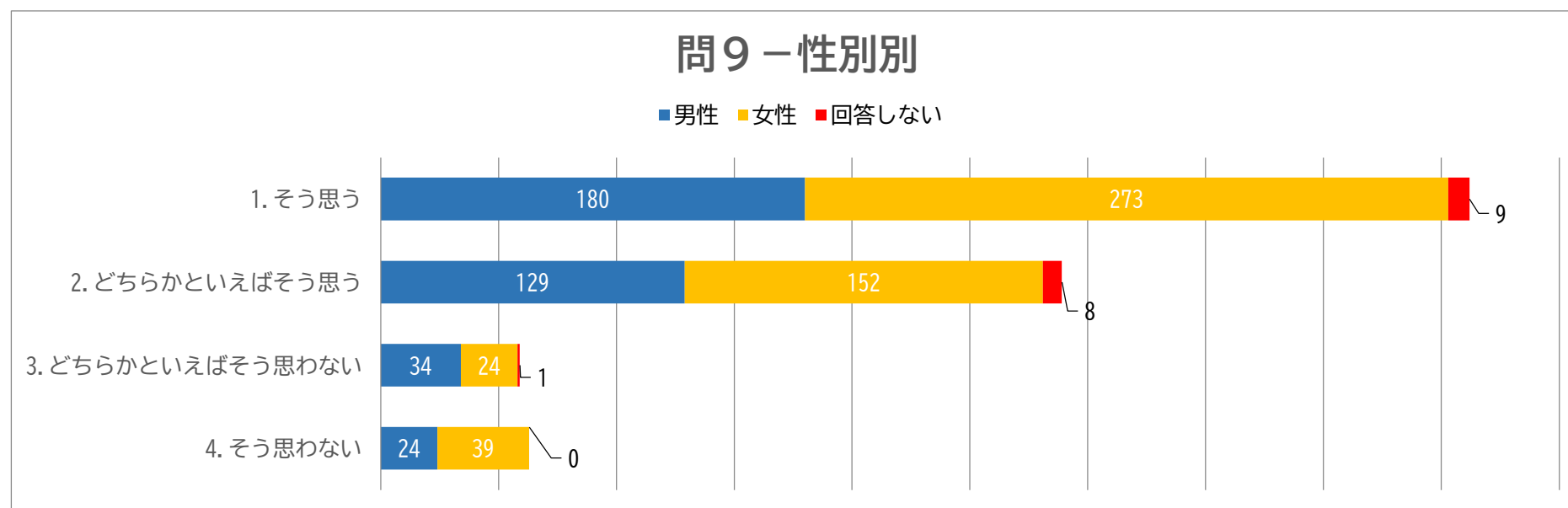
【7】男女共同参画に関する言葉のうち、知っているものを選択してください。(複数選択可)



【8】「男は仕事、女は家庭」だと思いますか。

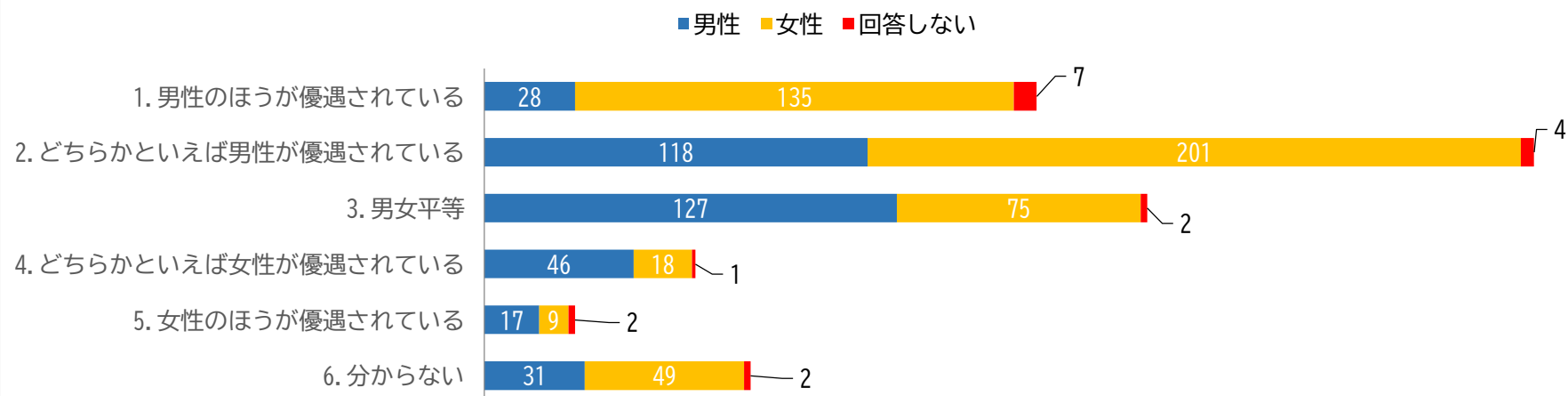


【9】男女とも仕事をし、家事・育児を分担する方がよいと思いますか。

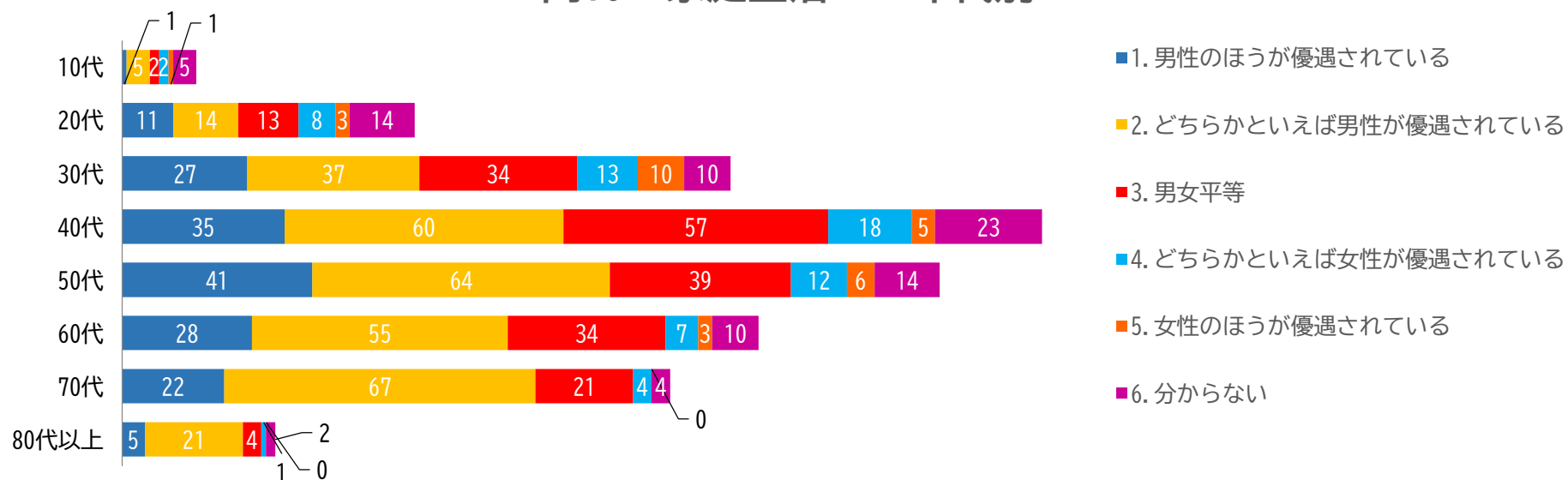


【10】男女の地位の平等感について、下記の分野ごとにあなたの気持ちに最も近いものを選択してください。

問10＜家庭生活＞－性別別



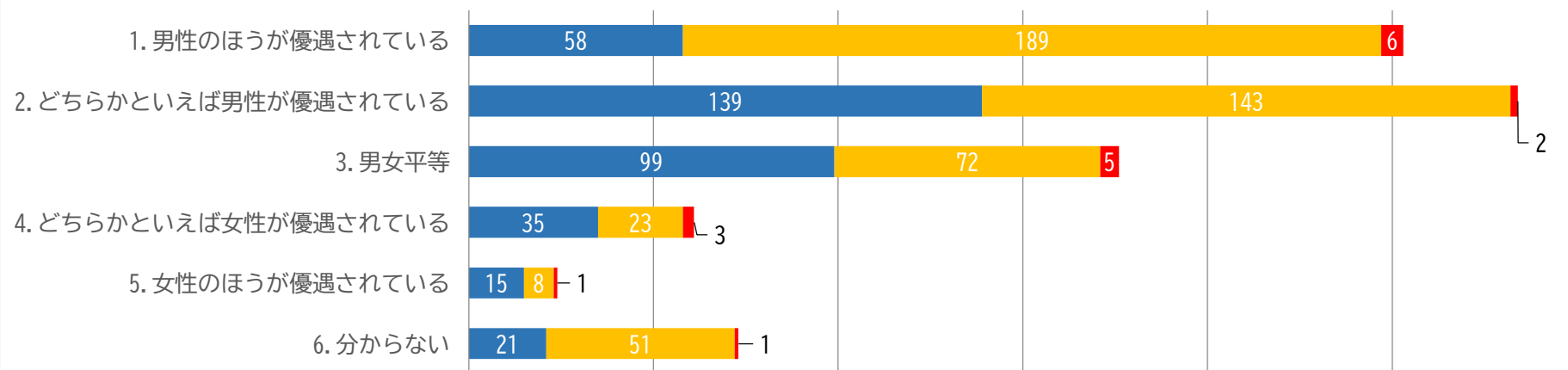
問10＜家庭生活＞－年代別



【10】男女の地位の平等感について、下記の分野ごとにあなたの気持ちに最も近いものを選択してください。

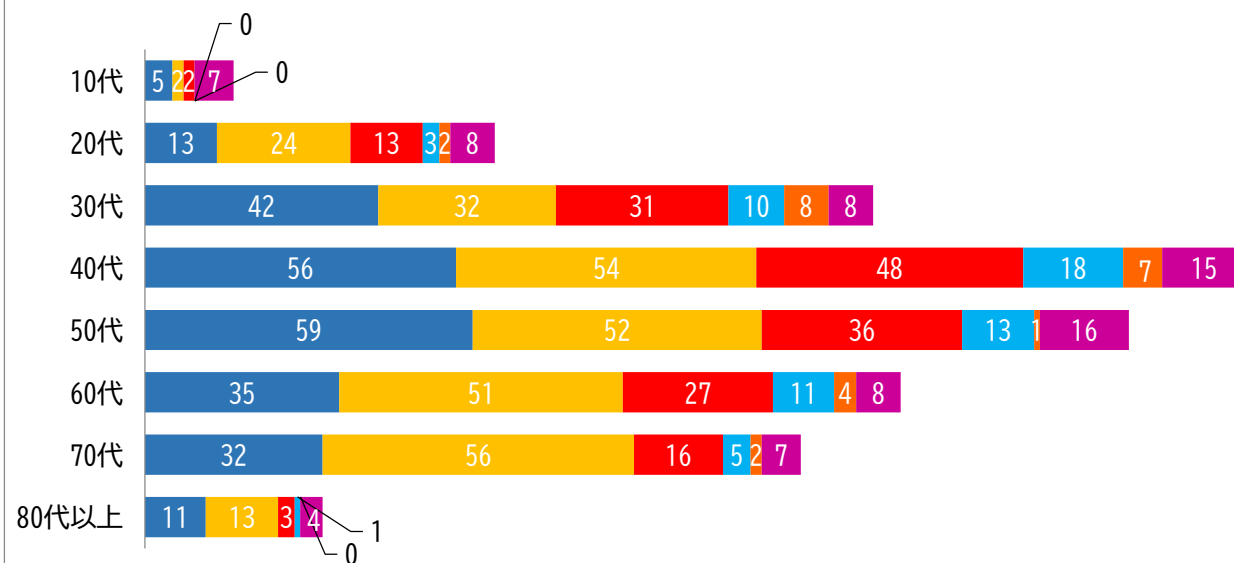
問10＜職場＞－性別別

■男性 ■女性 ■回答しない

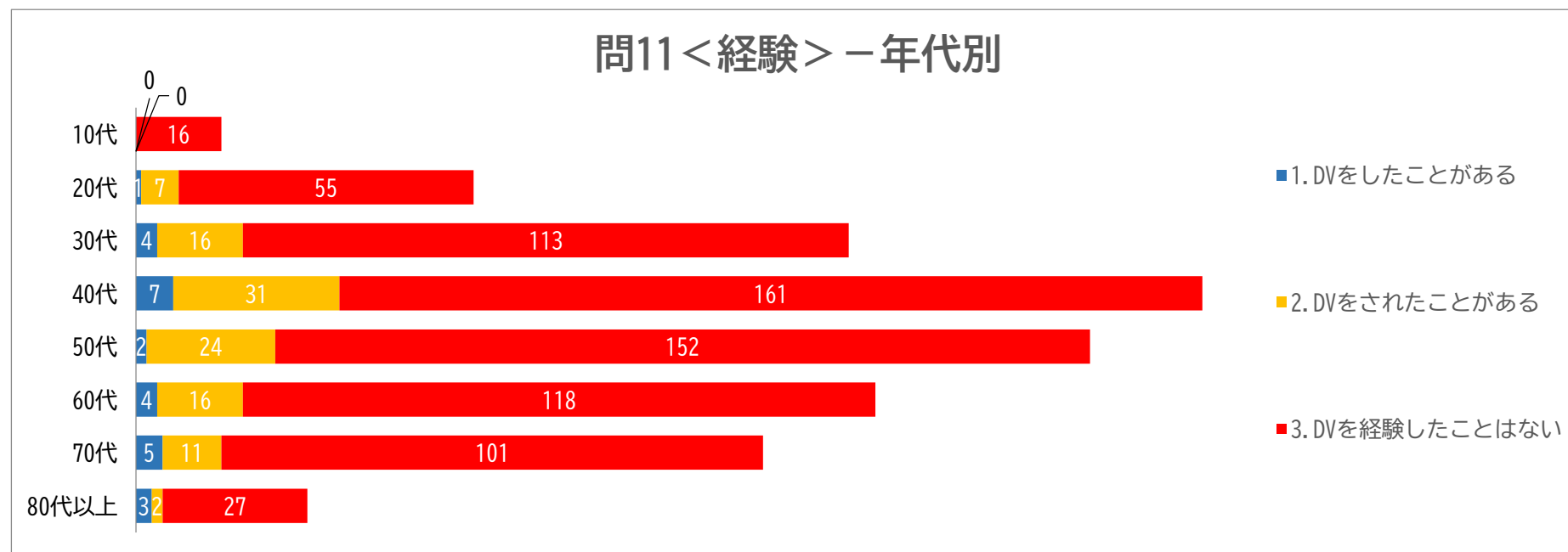
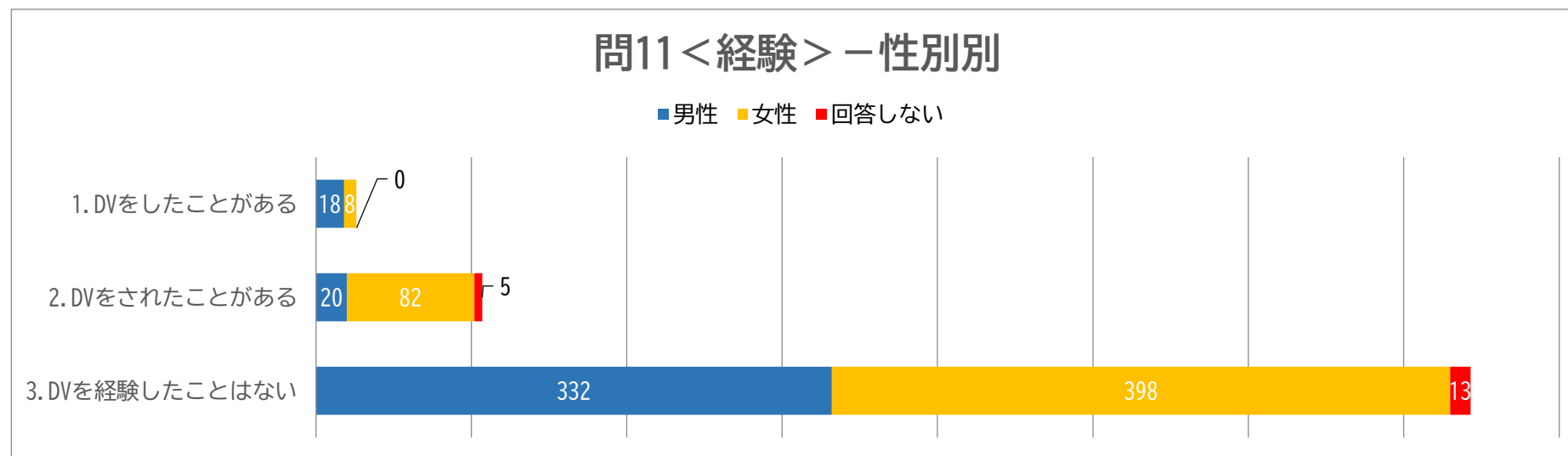


問10＜職場＞－年代別

■1. 男性のほうが悪遇されている
 ■2. どちらかといえば男性が悪遇されている
 ■3. 男女平等
 ■4. どちらかといえば女性が悪遇されている
 ■5. 女性のほうが悪遇されている
 ■6. 分からない



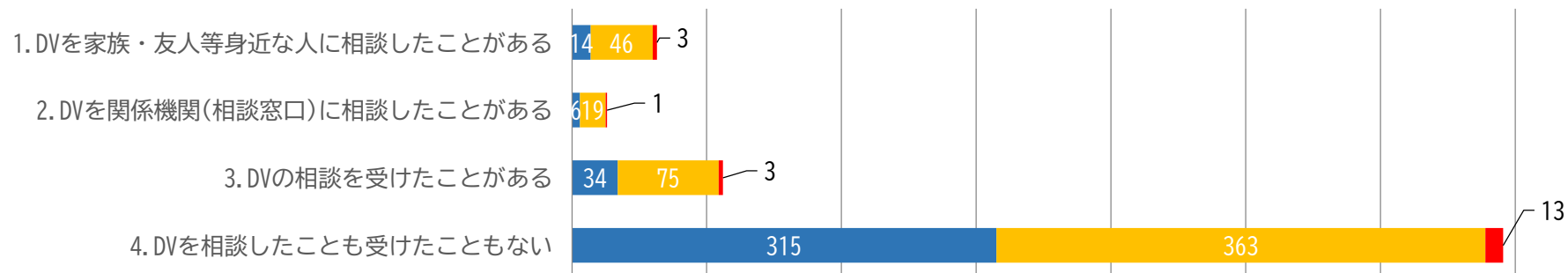
【11】DVを経験したことはありますか。また、DV の相談をしたり受けたりはありますか。(複数選択可)



【11】DVを経験したことはありますか。また、DV の相談をしたり受けたりしたことはありますか。(複数選択可)

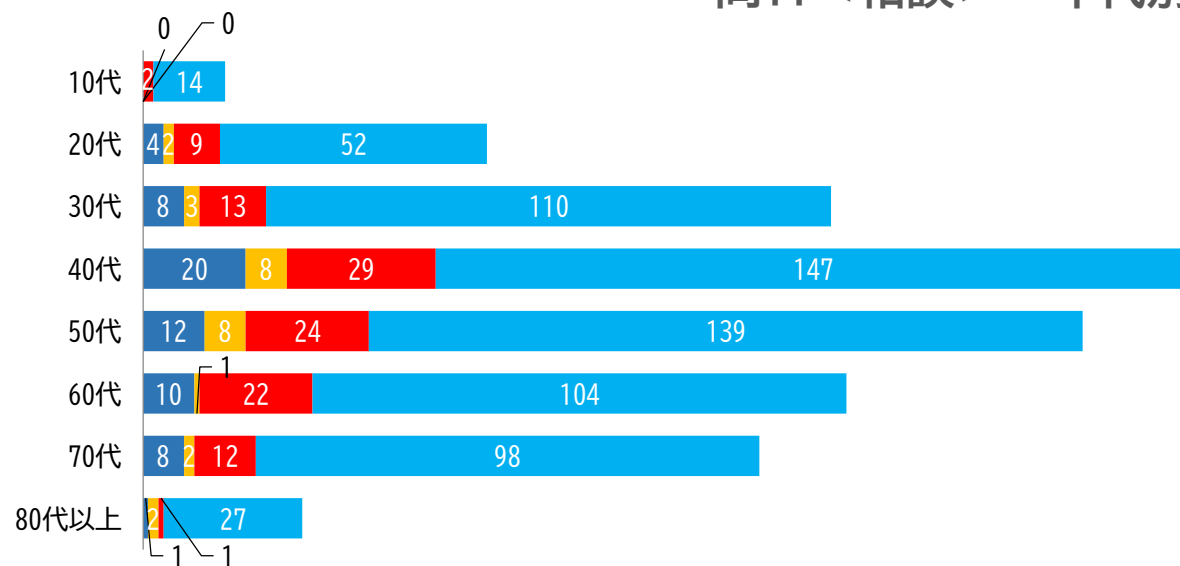
問11＜相談＞－性別別

■男性 ■女性 ■回答しない

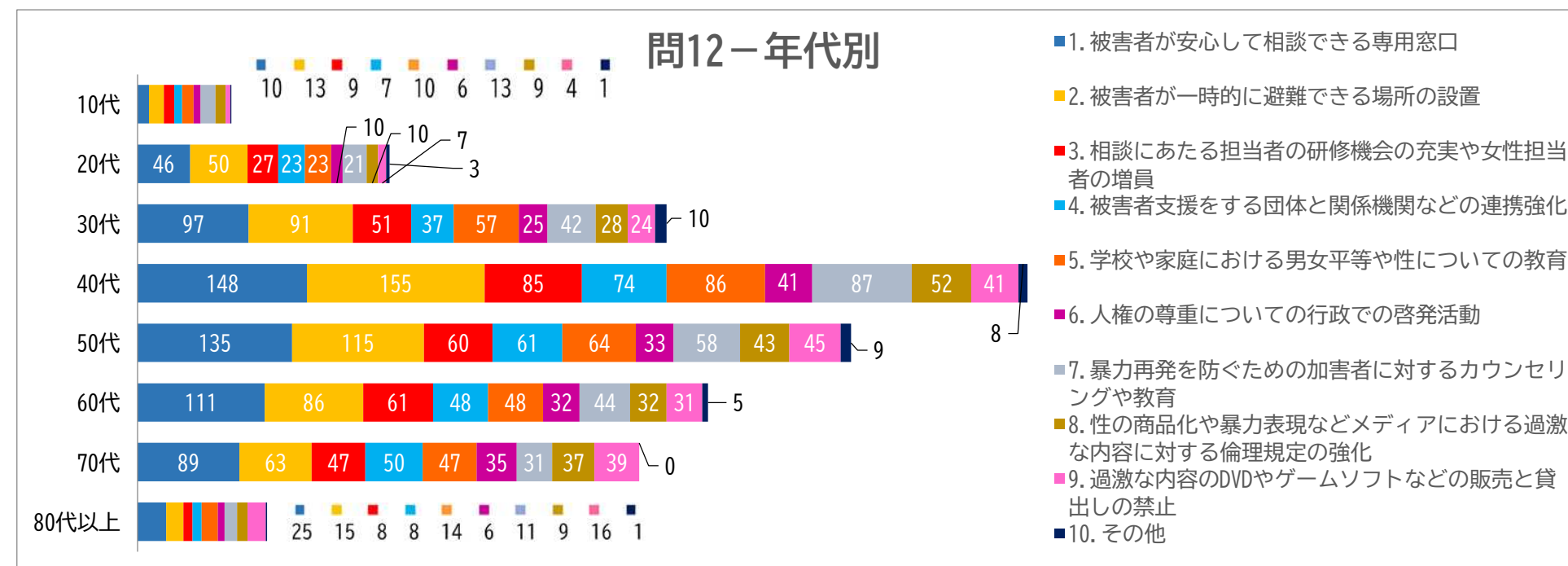
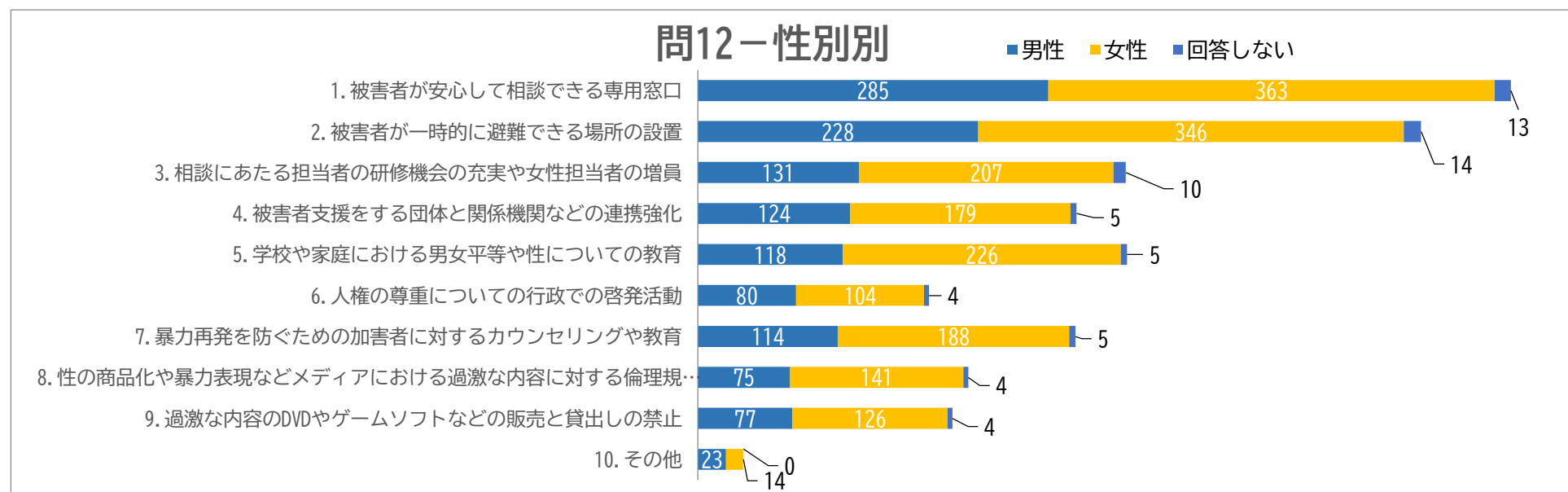


問11＜相談＞－年代別

- 1. DVを家族・友人等身近な人に相談したことがある
- 2. DVを関係機関(相談窓口)に相談したことがある
- 3. DVの相談を受けたことがある
- 4. DVを相談したことも受けたこともない



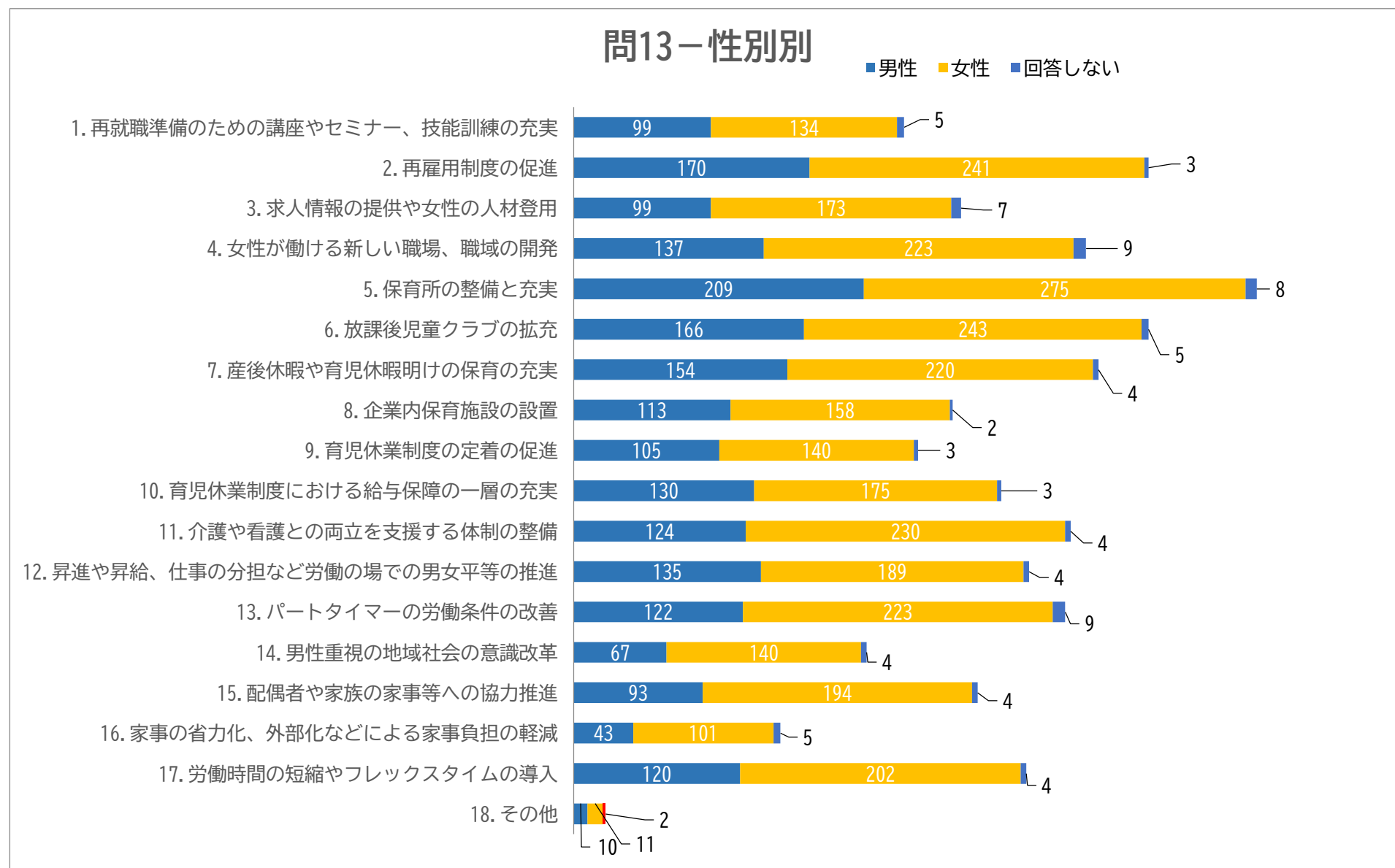
【12】DVやセクシャルハラスメント、ストーカーなどの行為について、どのような対策をしていけば良いと思いますか。(複数選択可)



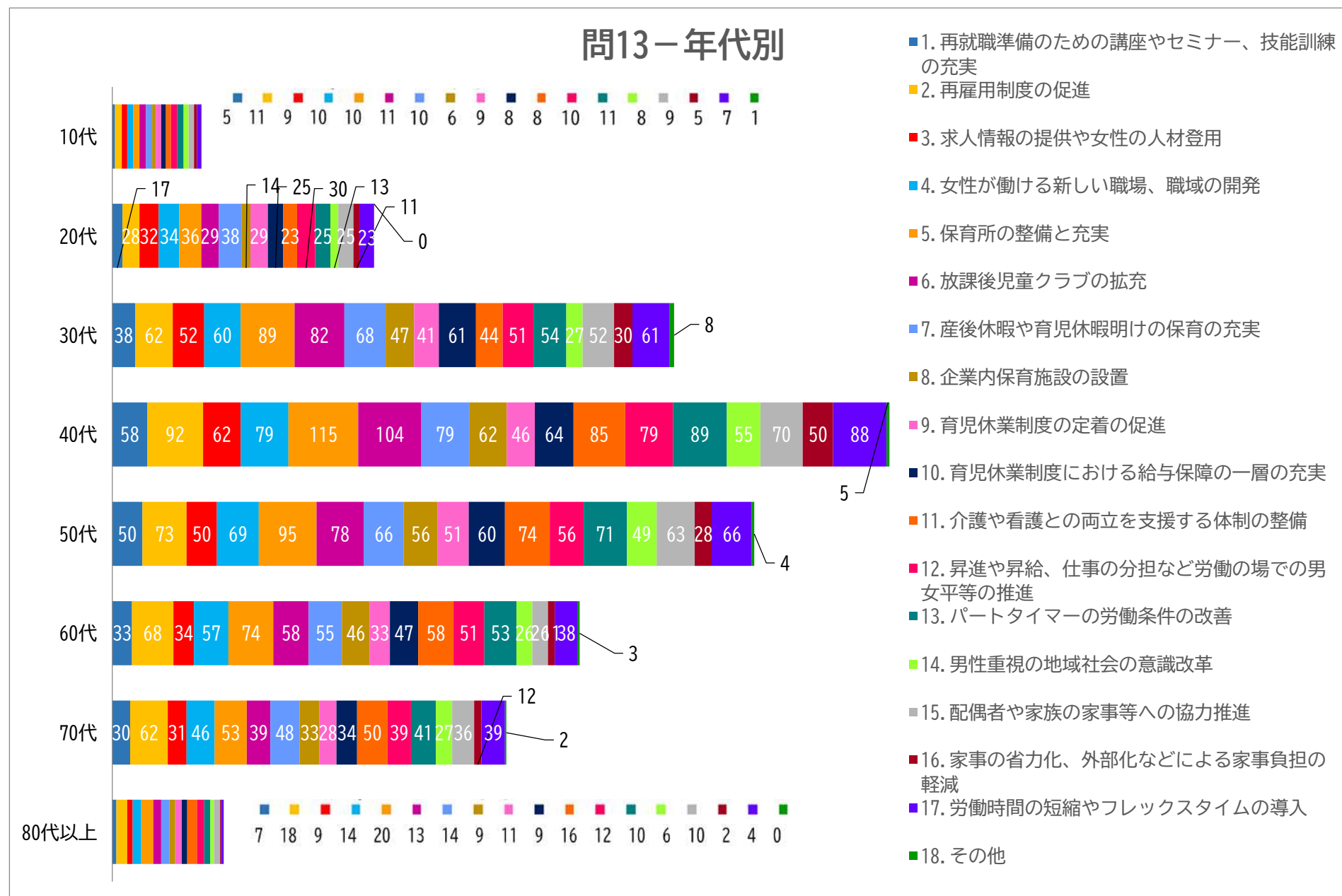
【問12 10. その他】の意見（原文ママ）

- ・加害者に問題点を当て、加害者一時的隔離をし治療させる。【10 代・男性】
- ・酒類の販売規制。【60 代・男性】
- ・(2 について)恵庭市にほしいです。前は札幌まで行って下さいと言われました。
【60 代・女性】
- ・電話相談。【80 代以上・男性】

【13】女性が働きやすい環境をつくるには、なにが必要だと思いますか。(複数選択可)



【13】女性が働きやすい環境をつくるには、なにが必要だと思いますか。(複数選択可)



【問13 18. その他】の意見（原文ママ）

- ・制度の充実と、職場の同僚である様々な世代への理解推進。【40代・女性】
- ・男女平等をうたっているのに、女性が働きやすい職場を目指す必要はないかと思う。男性にとっても働きやすい職場など、存在していない。

【30代・回答しない】

- ・男性の考え方が変わっていかないと、家事などで手が回らなくなる。

【50代・女性】

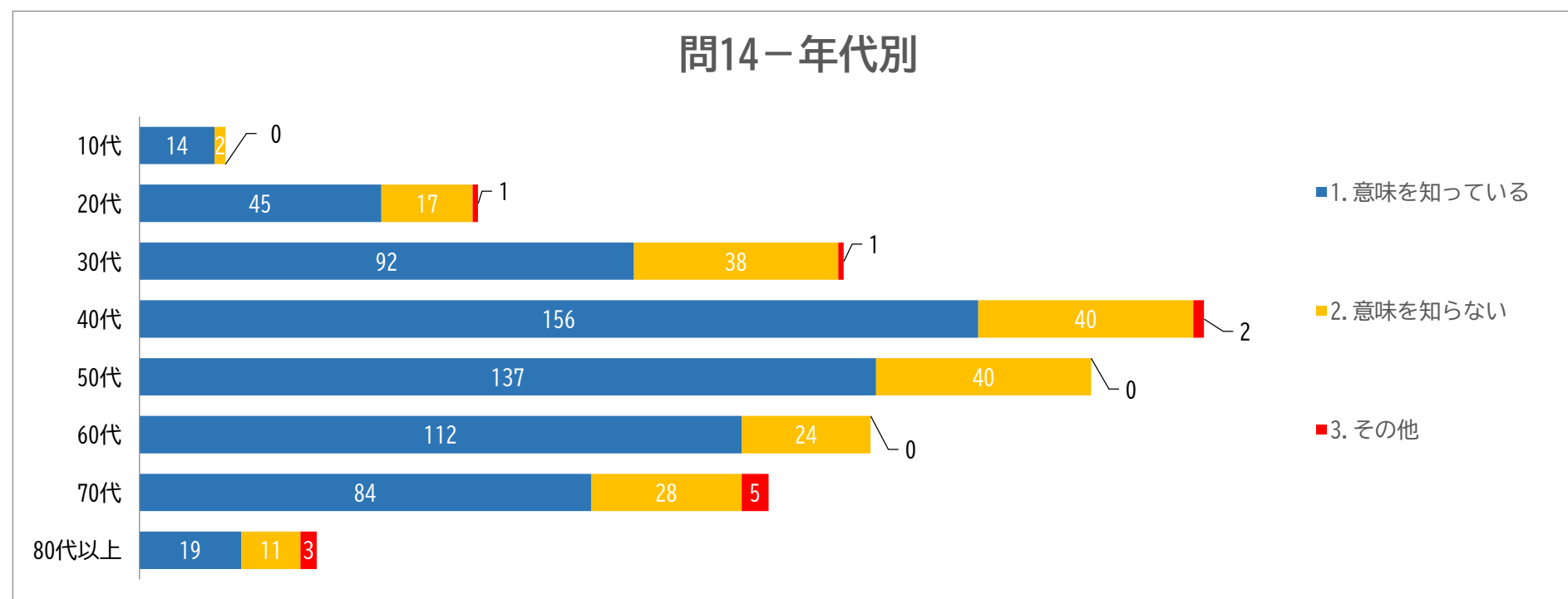
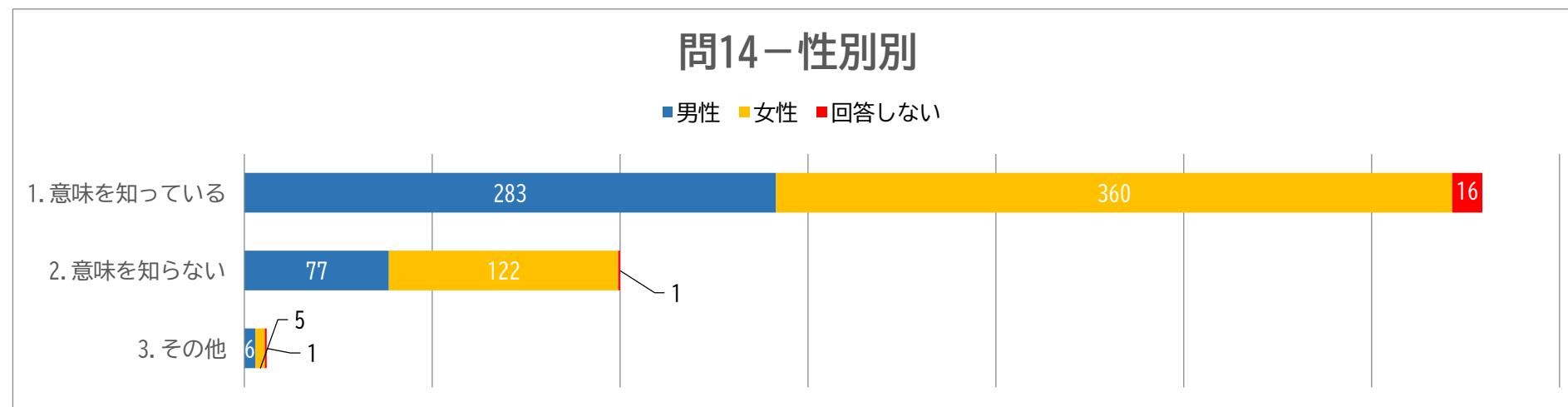
- ・今の職場は能力次第で性別に全く関係なく昇進できるので問題ない。

【60代・男性】

- ・企業の理解。【50代・男性】
- ・すでに多くの支援制度がある。身の回りの人を見る限り働きたくない女性が多いだけ。【30代・男性】
- ・そもそも働きやすい環境は何かわからない。【30代・女性】
- ・感情で動くから無理だと思う。【30代・男性】
- ・幼い子供がいても働ける企業が増えること。【30代・女性】
- ・働きやすいから働きやすくないかは個人の捉え方だと思う。だから、環境をどうするかじゃなく、考え方をかえるべき。【30代・女性】
- ・子供が軽い体調不良のときに、予約なしでも預けられる環境。【40代・女性】
- ・幼児期の過度な体調不良に対する対策【40代・女性】
- ・再就職、再雇用という言葉があるのがおかしい。必ず辞める現実があるからじゃないですか？【60代・女性】
- ・そんな子供の預け先があるかないか一択それ以外なにもない。
【40代・女性】
- ・女性の意識改革。【60代・男性】
- ・女性の能力向上。【30代・男性】
- ・働くことより家事育児に専念出来ることが少子化じゃなくなる。
【10代・回答しない】

- ・”急な休み、有給のとりやすさ 生理休暇 職場の理解”【30代・女性】
- ・むりに働く必要なし。【70代・男性】

【14】性的マイノリティ(性的少数者)に関する意味を知っていますか。

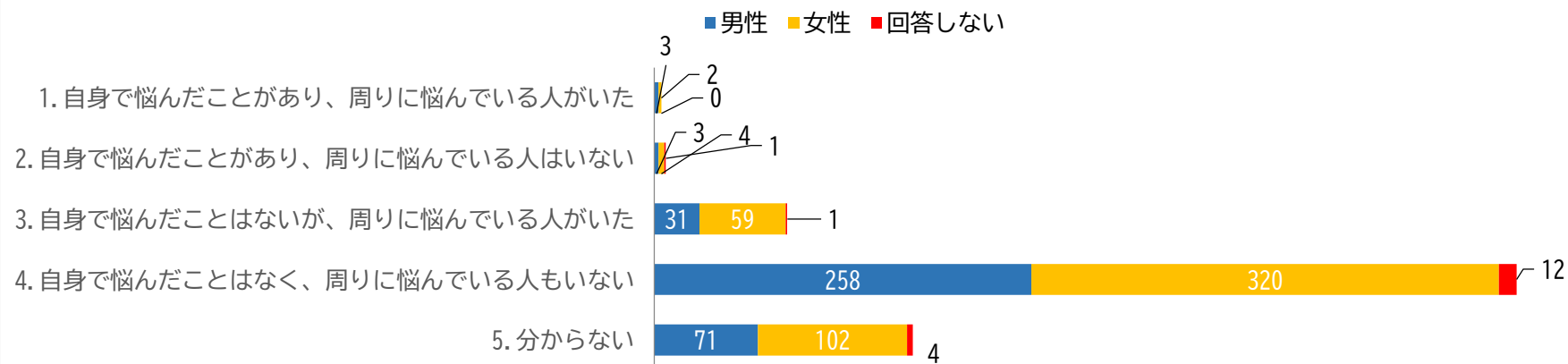


【問14 3. その他】の意見（原文ママ）

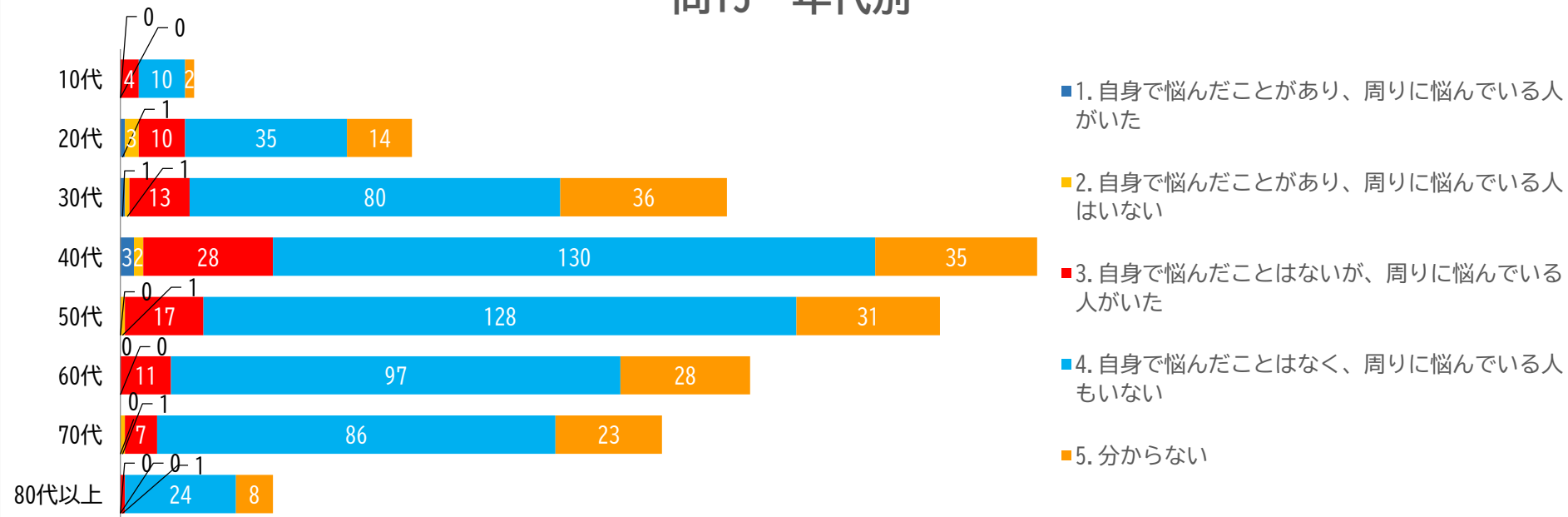
- ・性は男と女のみ。【70代・男性】
- ・LGBT。【40代・男性】
- ・意味が深く知識が十分とはいえないので。【70代・女性】
- ・よくわからない。【20代・男性】
- ・あまりよく知らない。【80代以上・女性】
- ・聞いた事があまりないのでわかりません。【70代・回答しない】

【15】性的マイノリティに関して、自身で悩んだことはありますか。また、周りで悩んでいる人はいましたか。

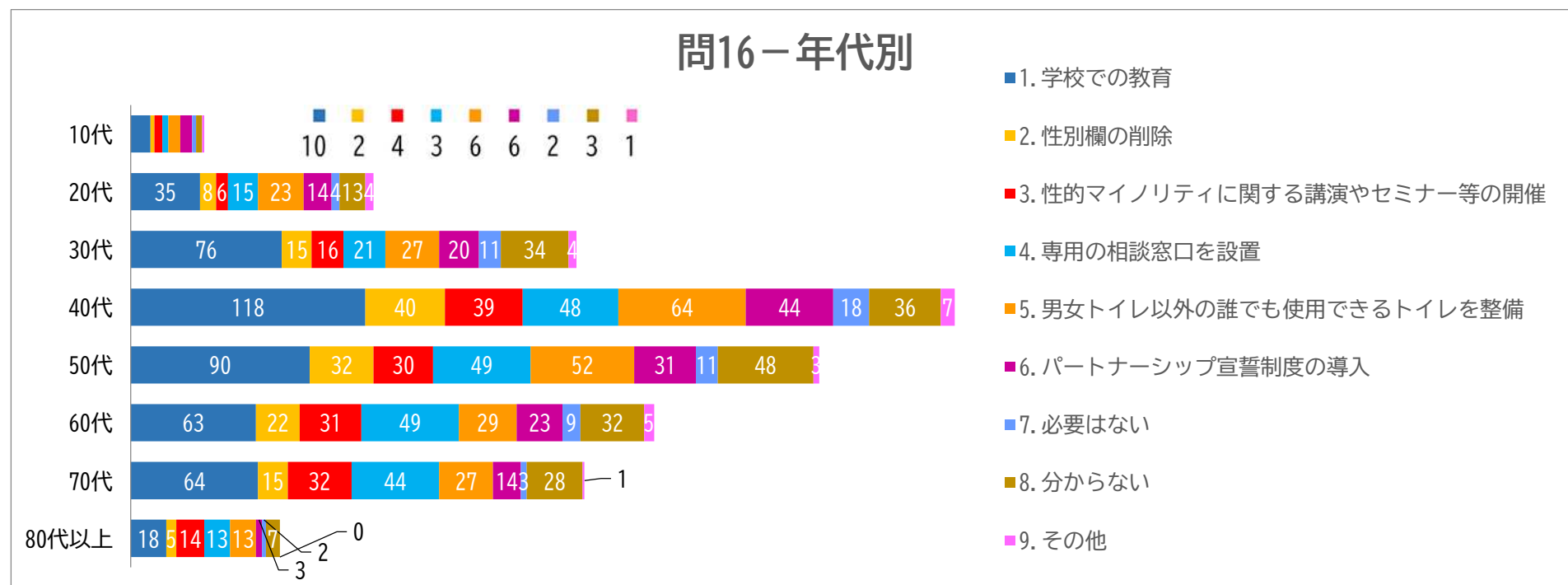
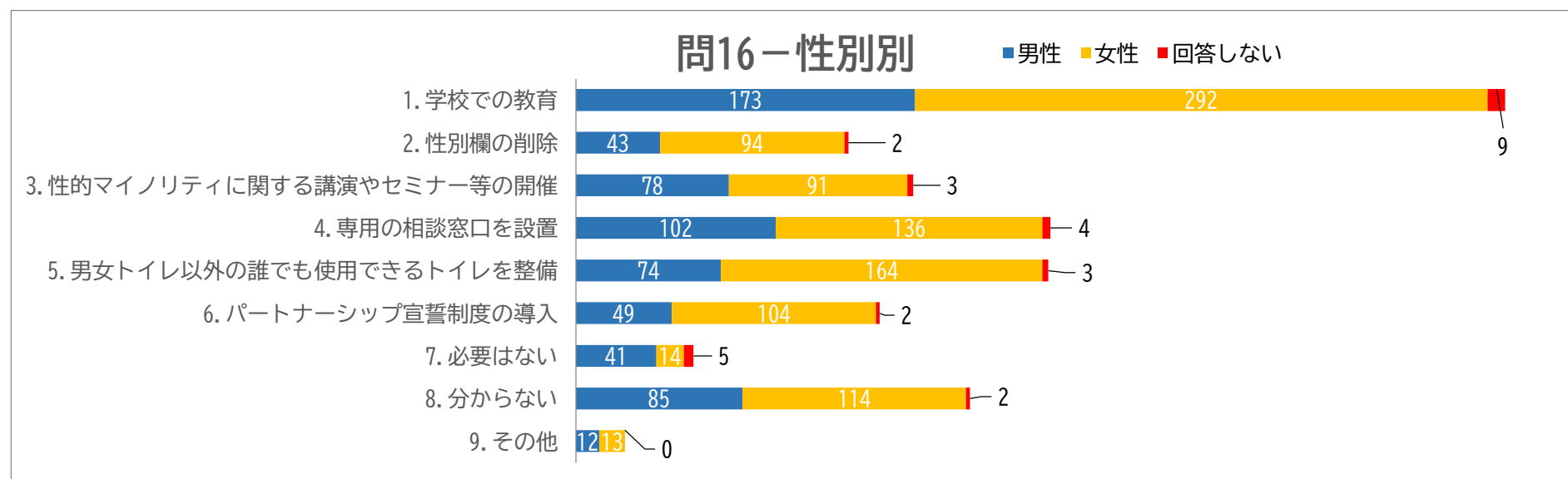
問15－性別別



問15－年代別



【16】性的マイノリティについて、今後必要となる施策は何かありますか。(複数選択可)



【問 16 9. その他】の意見（原文ママ）

・男に生まれたなら男として生きるべき。女として生まれたなら女として生きるべき。自由を履き違えてはならないし、性的マイノリティーを推奨している方々は善人を演じたいか利権絡みとしか思わない。Noと言える人間にならなければいけない。【20 代・男性】

・受け入れる国民の寛容性の増進は必要だが、わざわざインフラを整えたり制度を変える必要はない。【40 代・男性】

・過剰に性的マイノリティにこだわず、多数を占めるそれ以外の市民についてもよく考える要。【40 代・男性】

・ここはここ、からだはからだでしっかり分ける。行政の書類などは生物学上の性別。公共施設については男女+誰でもと言った形で良いのでは？

【20 代・女性】

・それを犯罪に使う男性がいる。【50 代・女性】

・教師という子どもにとって絶対的な権力者が性について幼い子どもに押し付けるのは絶対にやめてほしい。性は押し付けられるものではない。

【50 代・男性】

・自然に任せるのが良い。過剰に対策を取ると性的マイノリティーが増えると思う。【40 代・女性】

・学校での教育はすでに十分。その教育を受けてなかった世代への教育。

【30 代・男性】

・同性同士でも結婚できるような法整備。現状では同性のパートナーら遺産相続や入院時の面会等制限を受けることが多い。【30 代・女性】

・極わずかな人間のために大多数の人達が気を使い迷惑と時には生命の危機を感じている。【70 代・男性】

・認知されていけばいいと思う。【30 代・男性】

・心は女と言うが体も心も女の人の気持ちも大事に。【60 代・男性】

・騒ぎすぎ。何も必要ない。【30 代・女性】

・性的マイノリティの価値観を押し付け合わない。【40 代・女性】

・そもそもこのような設問がある事自体、性的マイノリティに対する差別や逆差別が存在する証左である、その意識ごと改革しなければいつまで経っても性的マイノリティとそうでない者、と言う区分け、構図のままである。【40 代・男性】

・「心は女性」と言い張る男性に犯罪に巻き込まれないよう女性が安心して過ごせる配慮、区別。少数派に配慮した結果多数が不利益を被らない制度。

【40 代・女性】

・家庭での教育。【30 代・男性】

・高齢者 60 歳以上の方々の理解や誤解を無くす教育があると参加したいです。

【60 代・女性】

・生物学的な性別は 2 種類しかないので、性的マイノリティの方への必要以上の譲歩は必要ないと思う。トイレや更衣室など逆に健常者が危ない目にあう場合もある。【40 代・女性】

・日本では性別が男、女、しかないので、タイのようにそれ以外での性別を社会的に認めること。【40 代・女性】

・対象者がいても当たり前と思う環境になるまで時間がかかるため今は仕方がないが、将来的に世間の意識が変わっていくことを期待する。【20 代・女性】

・浴場やトイレは心ではなく体の性別でしっかり分けるという法整備を進めることが大事。マジョリティに我慢を強いればそれが差別や嫌悪感につながる。

【40 代・女性】

・性的少数者を優遇すれば多くの人の権利を制限する事となる、日本社会は過去も受け入れて来ているので問題ない。【50 代・男性】

・今の、行き過ぎた施策を改めるべき。【40 代・男性】

・国、政治家の理解が乏しい。【60 代・女性】

・そういうもの、普通のものだという理解。【20 代・男性】

・過剰に対応する必要はない。権利を勘違いする社会に偏っていく可能性がある。【20 代・男性】

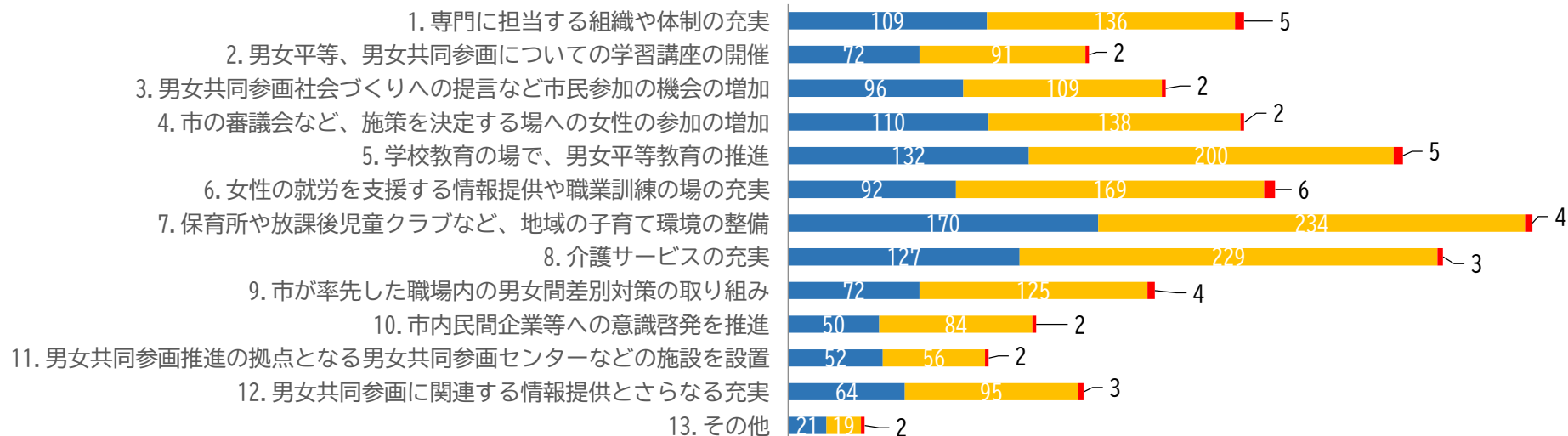
・親御さんの教育が一番必要と思います。【60 代・女性】

・同性婚を認める制度の導入。【10 代・男性】

【17】男女共同参画社会を進めるために、あなたは恵庭市にどのようなことを期待しますか。(複数選択可)

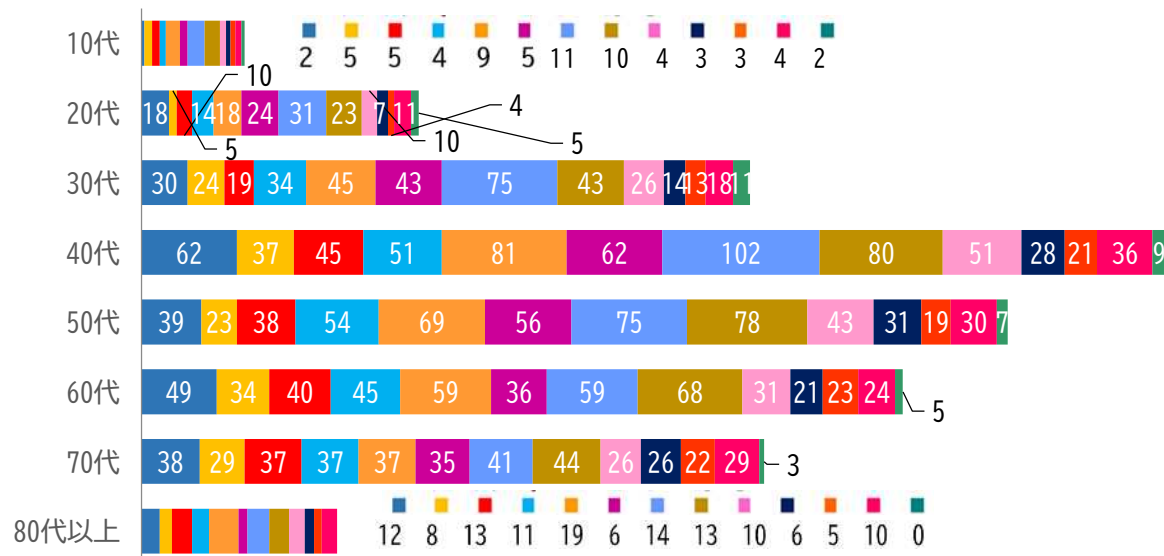
問17－性別別

■男性 ■女性 ■回答しない



問17－年代別

- 1. 専門に担当する組織や体制の充実
- 2. 男女平等、男女共同参画についての学習講座の開催
- 3. 男女共同参画社会づくりへの提言など市民参加の機会の増加
- 4. 市の審議会など、施策を決定する場への女性の参加の増加
- 5. 学校教育の場で、男女平等教育の推進
- 6. 女性の就労を支援する情報提供や職業訓練の場の充実
- 7. 保育所や放課後児童クラブなど、地域の子育て環境の整備
- 8. 介護サービスの充実
- 9. 市が率先した職場内の男女間差別対策の取り組み
- 10. 市内民間企業等への意識啓発を推進
- 11. 男女共同参画推進の拠点となる男女共同参画センターなどの施設を設置
- 12. 男女共同参画に関連する情報提供とさらなる充実
- 13. その他



【問 17 13. その他】の意見（原文ママ）

- ・低所得世帯にばかり給付や支援をしないで、子どもを産んだ日本人女性を支援しろ。【30 代・回答しない】
- ・人間は全て平等。身体や脳の構造的に得手不得手がある。出産は女にしか出来ない。大前提を忘れないで欲しい。【50 代・女性】
- ・今のままで良い。【60 代・男性】
- ・期待しません。【40 代・男性】
- ・雇用側の理解。【50 代・男性】
- ・女性は育児があるから、均等な利益を享受することはできないと思う。【40 代・女性】
- ・市議会議員の学習と行動の促進。【70 代・女性】
- ・必要ない。【30 代・男性】
- ・そもそも恵庭市自身が何をしたいかわからない。【30 代・女性】
- ・市に期待していない。【50 代・女性】
- ・男女ではなく有能な人を使う。【70 代・男性】
- ・出産や介護などに関する手当(現金)、家事代行サービスのサービス券。【20 代・女性】
- ・平等である必要はないと思う。男女とかの枠組みがそもそもでは？助け合える、話し合える環境から。【30 代・男性】
- ・行政含め特定の機関が主導して行うものでは無い、その時点で主催側の意図、意思が介在する。【40 代・男性】
- ・無理に社会に引きずり出す必要はない。【30 代・女性】
- ・積極的に女性リーダーを増やしたり、意見を反映させて欲しい。【40 代・女性】
- ・男女平等、偏りばかりでなくそれぞれ特性の意味を理解する。【40 代・女性】
- ・女性の能力アップ。【60 代・男性】
- ・よくわからない。【60 代・女性】
- ・講座など無駄なことに税金を使わないでほしい。【40 代・女性】

- ・選択的夫婦別姓制度導入の積極的な要請と旧姓使用制度の導入と周知。【50 代・女性】
- ・恵庭市の最大企業は市役所であり優秀な人材も豊富、男女問わず(定年者を含む)議会への挑戦、社会取締役への出向により、同施策を取り入れた企業へは減税により優遇。【50 代・男性】
- ・よくわからない。【20 代・女性】
- ・平等ではなく、区別して共同参画するべき。【40 代・男性】
- ・特にない。【30 代・女性】
- ・恵庭市単体ではなにもできない。20 代・男性【】
- ・女性の意識変革。【50 代・男性】
- ・公務員や自衛隊への意識改革や介護の研修などを取り入れたら良い。【60 代・女性】
- ・特に必要ないと思っている。【40 代・男性】
- ・現況では何も期待しない。【60 代・男性】
- ・特になし。【40 代・男性】
- ・とりあえず年寄りはいらない。【10 代・回答しない】
- ・子どもと参画できる職業体験の場の充実。【10 代・男性】
- ・育児休業中に減少する収入の補填。【30 代・男性】
- ・組織や体制を作ることが目的であってはならない。具体的な目標を定め、具体的に何をやるかが大事だと思う。そして適時フィードバックすること。【70 代・男性】